

Fig.3-9-2 出土土器 (2)

Fig.3-9-2 Pottery (2)

内面は調整不詳。条痕か。外面は黄褐色，内面は暗灰茶褐色。胎土に花崗岩，赤味を帯びたクサリ礫を含み，径1 mm程の小礫が多い。焼成は良好。色調，胎土，質感から，21と同一個体と考えられる。23は，厚手で屈曲する。屈曲の程度は18・21より弱く，底部の可能性もある。外面は摩滅。ナデか。内面は摩滅しているが，所々横走する凹みがある。条痕調整の痕跡か。外面は黄褐色，内面は暗灰褐色。胎土は長石，クサリ礫を含み，径5 mmを超える小礫が多い。焼成は良好だが，摩滅が激しい。

3-5-2-5 2004年調査セクター1，4層出土資料（24～33）

24～27は，口縁部片である。24は，直立し，口縁端部を面取りする。外面は摩滅し，調整と文様は不詳。一部剥離する。内面はナデ。内外面とも暗茶褐色。胎土に長石，雲母，径1～1.5 mmの小礫を含む。焼成は良好。25は，わずかに内弯して立ち上がる。口縁端部は面取りし，内側に肥厚する。外面は摩滅し，調整と文様は不明。内面は縦方向の条痕の後，横方向の条痕。内外面ともに灰茶褐色。胎土に径1 mm程の小礫を含む。焼成は良好。26は，大きく開き，内弯気味に立ち上がる。器面の摩滅が激しい。外面は調整と文様は不明。浅い圧痕が残る。剥落痕か。内面はナデか。口縁端部は面取りし，内側が肥厚する。外面は暗茶褐色，内面は淡茶褐色。胎土に石英，長石，径2 mm程の角礫を含む。焼成は良好だが，摩滅が激しい。27は，やや開き，直線的に立ち上がる。外面は摩滅し，不明。内面は横方向の条痕の後，ナデ。口縁端部は，外側を面取りし，内面がやや肥厚する。内外面とも暗茶褐色。胎土に石英，長石，径1～3 mm程の小礫を含む。焼成は良好。

28～33は胴部片である。28・29は同一個体である。外面は縦方向の条痕の後，丁寧なナデ。内面はナデ。ただし，29は不詳。外面は暗茶褐色，内面は暗灰褐色。胎土は径1 mm程の小礫を含む。焼成は良好。30は，外傾して直線的に立ち上がる。外面は縦方向の条痕の後，ナデ。内面は横方向の条痕の後，ナデ。上端に擬口縁が見られる。内外面ともに茶褐色。胎土は緻密で，径1 mm弱の小礫と径3 mm程の小礫を含む。焼成は良好。器壁の立ち上がり角度から，底部直上片の可能性もある。31は，やや外傾する。外面は摩滅。内面はナデで，調整は少なくとも上下2単位に分かれる。繊維痕が認められる。外面は黄茶褐色，内面は暗茶褐色。胎土に長石，径1～4 mmの小礫を含む。焼成は良好。32は，直線的に立ち上がると思われるが，正位置は不明。外面は丁寧なナデ。内面は摩滅。破面に繊維痕が認められる。外面は暗灰茶褐色，内面は暗灰褐色。胎土に石英，長石，径1 mm程の小礫を含む。焼成は良好だが，出土時は非常に軟弱な状態であった。33は，直線的に立ち上がる。外面は縦方向の条痕。内面は摩滅。内外面ともに茶褐色。胎土に長石，雲母，径1～2 mm程の小礫を含む。焼成は良好。底部付近の破片と考えられる。

3-5-2-6 2004年調査セクター2，4層出土資料（34～41）

34～41は，胴部片である。34は，屈曲し，外面に押圧が加わる。屈曲の度合いは弱い。外面は棒状工具による押圧を斜方向から加えた後，ナデ。工具押圧は，複数条横走する。内面は横方向の条痕の後，ナデ。外面は黄茶褐色，内面は暗茶褐色。胎土に長石，チャート，径1～5 mmの小礫を含む。焼成は良好。口縁部付近の破片と考えられるが，底部片の可能性もある。35は，若干内弯気味に立ち上がる。外面は縦方向あるいは斜方向の条痕で一部剥離する。内面は丁寧なナデ。外面は淡茶褐色，内面は茶褐色。胎土にチャート，径1～2 mmの小礫を含む。焼成は良好。胴部下半部の破片と考えられる。36は，直線的に立ち上がり，外面に押圧痕が見られる。外面には擦痕が残るが，調整不詳。内面は横方向あるいは斜方向のナデで，擦痕が残る。外面は暗茶褐色，内面は黒褐色。胎土に径1 mmの小礫を含む。焼成は良好。37～39は，同一個体で，直線的に立ち上がる。外面は摩滅のため不詳。ナデか。内面は横方向あるいは斜方

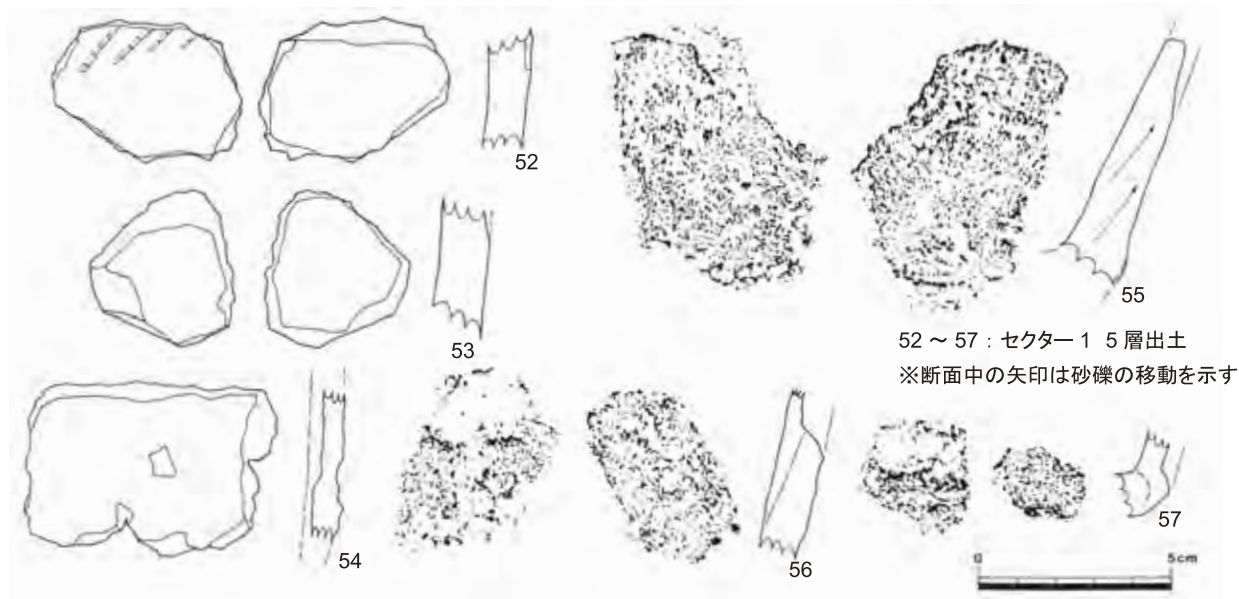


Fig.3-9-3 出土土器 (3)

Fig.3-9-3 Pottery (3)

向の条痕の後、ナデ。38・39の上端に擬口縁が見られる。外面が淡茶褐色、内面が暗灰褐色。胎土に径1～3mmの小礫を含む。焼成は良好。40は、若干内弯気味に立ち上がる。外面は摩滅しているが、横方向の条痕が残る。内面は横方向の丁寧なナデで、擦痕が残る。外面は淡茶褐色、内面は暗灰褐色。胎土に径1～3mmの小礫を多く含む。焼成は良好。41は、正位置不明。直線的に立ち上がるか。内外面とも摩滅。外面はナデか。外面は暗灰褐色、内面は灰茶褐色。胎土に石英、長石、径1～5mmの小礫を含む。焼成は良好だが、摩滅が激しい。

3-5-2-7 2003・2004年調査セクター1, 5層出土資料 (42～57)

42～47は、口縁部あるいは口縁部直下の破片である。42は、内弯気味に立ち上がる。内外面ともに横方向の条痕で、外側から内側へ刺突された焼成前穿孔が残る。口縁端部は面取りし、工具押圧が施される。絡条体・自縄自巻A種か。内外面ともに暗灰茶褐色。胎土に長石、径1～2mmの小礫を含む。焼成は良好。43は、若干内弯気味に立ち上がる。外面は斜方向の条痕の後、ナデ。内面は横方向の条痕。外側から内側へ刺突された焼成前穿孔が残る。口縁端部は面取りし、工具押圧が残る。工具は不詳だが、縄文LRもしくは櫛歯状工具か。内外面ともに暗茶褐色。胎土に雲母少量、径2mm程の小礫を含む。焼成は良好だが、脆い。44は、やや外傾して立ち上がる。外面は摩滅し、刺突・押圧列が2段巡る。上段は、焼成前穿孔と工具押圧が交互に配される。下段は、工具押圧のみが巡る。内面は横方向の条痕で、炭化物が付着する。外面は淡褐色、内面は暗茶褐色と黒褐色。胎土に長石、径1～2mm程の小礫を含む。焼成は良好だが、外面の摩滅が激しい。45は、直線的に立ち上がる。取り上げ時の所見は口縁部片であるが、口縁端部を欠く。外面は半裁竹管状工具による押圧列を2段巡らせた後、丁寧なナデ。内面は横方向の条痕の後、ナデ。外面は暗茶褐色、内面は暗灰褐色。胎土は径1mm程の小礫を含み、やや緻密。焼成は良好。46は、上下端を欠くが、弱く屈強する。口縁部直下の破片と思われる。内外面ともに摩滅。外面は櫛歯状工具によるナデ付け痕の可能性のある痕跡が見られるが、調整不詳。外面は、屈曲部直上に、上方向に押圧された丸棒状工具による押圧痕が巡る。胎土に径3mm程の小礫を含む。焼成は良好。47は、やや外傾して立ち上がる。外面はナデで、大振りの櫛歯状工具により押圧と焼成前穿孔が残る。内面は横方向の条痕。焼成前穿孔は、

Table 3-2-1 出土土器属性表

Table 3-2-1 Pottery attributes

図 No.	調査 年度	Sector	層位等	人工層位 Искусст	グリッ ド	取上 げNo.	部位	加飾	調整		色調		胎土	焼成	備考	
									外面	内面	外面	内面				
1	2003		1号くぼみ地形	7(1号くぼみ地形4)	D3	N14	口縁部		(摩滅)	条痕	黒褐色	黒褐色	石英・長石・繊維痕・緻密	良好		
2	2003		1号くぼみ地形	7(1号くぼみ地形4)	F4	N13	口縁部	穿孔	条痕	条痕	暗茶褐色	暗茶褐色	長石・チャート	良好		
3	2003		1号くぼみ地形	8(1号くぼみ地形5)	C3	C-3-4	口縁部	工具押圧?・焼成前穿孔	—	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	長石・雲母(少量), 径1mm程の小礫	良好だが摩滅激しい		
4	2003		3(1号くぼみ地形)	7(1号くぼみ地形4)	E2		口縁部	工具押圧・工具ナデツケ	ナデ	(摩滅)	茶褐色	暗灰茶褐色	長石・径1mmの小礫・繊維痕	良好		
5	2003		3(1号くぼみ地形)	6(1号くぼみ地形3)	E3	E-3-C.K.1	口縁部?	(肥厚帯?)	不明	(摩滅)	ナデ	褐色	暗茶褐色	長石・雲母(少量), 繊維痕, 径1mm程の小礫	良好だが摩滅激しい	
6	2003		1号くぼみ地形	7(1号くぼみ地形4)	E3	E-3-2	胴部		(不詳)	条痕	黒褐色	黒褐色	長石・石英, 径1~4mmの小礫	良好 比較的硬質		
7	2003		4(1号くぼみ地形)	6(1号くぼみ地形3)	C3	C-3-14	胴部		(摩滅)	(摩滅)	暗茶褐色	暗茶褐色	花崗岩・雲母(少量), 径1~2mmの小礫	良好だが摩滅激しい		
8	2003		1号くぼみ地形	7(1号くぼみ地形3)	D4		胴部		(摩滅)	(摩滅)	暗茶褐色	黒褐色	長石, 径1~4mmの小礫	良好だが摩滅激しい		
9	2003		3(1号くぼみ地形)	6(1号くぼみ地形3)	F3	F-3-3	胴部		(摩滅)	条痕	暗茶褐色	黒褐色	長石・石英, 径1~3mmの小礫	良好だが摩滅激しい		
10	2003		1号くぼみ地形	6(1号くぼみ地形3)	E3		胴部	工具押圧	ナデ?	ナデ	暗黄茶褐色	暗灰茶褐色	長石, 径1mm程の小礫	良好		
11	2003		1号くぼみ地形	4		D-3-7	胴部		(摩滅)	(摩滅)	黒褐色	暗茶褐色	長石, 径3mmの小礫, 繊維痕	良好だが摩滅激しい		
12	2003		3(1号くぼみ地形)	6(1号くぼみ地形3)	E3	E-3-2	胴部		(摩滅)	(摩滅)	黄褐色	茶褐色	長石・チャート・クサリ礫, 径2~5mmの粗い小礫	良好だが摩滅激しい		
13 14	2004	2	3	4	G5・6	CK-2	口縁部・胴部		ナデ	ナデ	褐色	暗茶褐色	長石・径1mm弱の小礫	やや不良・軟質	付着炭化物による年代測定実施。	
15	2004	2	3	4	G5	CK-4	胴部(屈曲部?)	工具押圧	ナデ・(摩滅)	条痕	黒褐色・明茶褐色	暗黄茶褐色	長石・径1~2mmの小礫	良好	擬口縁	
16	2004	2	4	4	H5	1	胴部(口縁部付近?)		条痕のちナデ	条痕	明茶褐色	明茶褐色	径1mm程の小礫	良好だが脆い	外面に剥落痕	
17	2003	1	4	7	C2	N20	口縁部	穿孔・工具押圧	ナデ	(摩滅)	暗灰茶褐色	灰茶褐色	径1~3mmの礫	良好		
18	2003	1	4	6	B4	C.K.1	口縁部~胴部(屈曲部)	工具押圧	ナデ	(摩滅)	暗茶褐色・褐色	褐色	雲母(少量), クサリ礫, 繊維痕, 径1mm・3~4mmの小礫	良好だが摩滅激しい		
19	2003	1	4	5	A3	N1	胴部	凹線内刺突・刺突列	ナデ・条痕	丁寧なナデ	褐色	暗茶褐色	長石, 径1mm強の小礫	良好だが軟質	擬口縁。	
20	2003	1	4	7	A4	N11	胴部		条痕	(摩滅)	茶褐色	暗茶褐色	雲母(少量), 長石, 径2~3mmの小礫(少量)	不良 軟質		
21	2003	1	4	4	A3	N3	胴部	工具押圧	ナデ	ナデ	黄褐色	暗灰褐色	クサリ礫, 径2~3mmの小礫	良好	22と同一個体?	
22	2003	1	4	4	B3	N2	胴部		丁寧なナデ	条痕	黄褐色	暗灰褐色	花崗岩, クサリ礫, 径1mm程の小礫	良好	21と同一個体?	
23	2003	1	4	4(1号くぼみ地形3)	B3	N13	胴部		ナデ?(摩滅)	条痕?(摩滅)	黄褐色	暗灰褐色	長石, クサリ礫, 径5mm超の小礫	良好だが摩滅激しい		
24	2004	1	4	6	D4	338~339	口縁部		(摩滅)	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	長石・雲母, 径1~1.5mmの小礫	良好		
25	2004	1	4	5	E1	64~67-1	口縁部		(摩滅)	条痕?	灰茶褐色	灰茶褐色	径1mm程の小礫	良好		
26	2004	1	4	4	E6	N5	口縁部	口唇部押圧	(不詳)	ナデ?	暗茶褐色	淡茶褐色	長石・石英, 径2mm程の角礫	良好だが摩滅激しい		
27	2004	1	4	6	D2	N42	口縁部		(摩滅)	条痕	暗茶褐色	暗茶褐色	長石・石英, 径1~3mm程の小礫	良好		
28 29	2004	1	4	4(1号くぼみ地形1)	E4	4	胴部		条痕のち丁寧なナデ	ナデ	暗茶褐色	暗灰褐色	径1mm程の小礫	良好		
30	2004	1	4	6	E1	40	胴部(底部直上?)		条痕のちナデ	条痕のちナデ	茶褐色	茶褐色	径1mm未満の小礫, 径3mmの小礫・緻密	良好	擬口縁	
31	2004	1	4	6	D5	347	胴部		(摩滅)	ナデ	黄茶褐色	暗茶褐色	長石, 径1~4mmの礫・繊維痕	良好	内面に繊維痕	
32	2004	1	4	4	C4	N9	胴部		丁寧なナデ	(摩滅)	暗灰茶褐色	暗灰褐色	長石・石英, 径1mm程の礫・繊維痕	良好だが出土時軟弱	器形に歪み正確な器形不明。	
33	2004	1	4	5	E1	64~67-2	胴部(底部付近?)		条痕	(摩滅)	茶褐色	茶褐色	長石・石英, 径1~3mm程の小礫	良好		
34	2004	2	4	6	H・14	5	胴部(口縁部付近?) ※底部の可能性あり	工具押圧	ナデ	条痕のちナデ	黄茶褐色	暗黄茶褐色	長石・チャート, 径1~5mmの小礫	良好	角礫を含む砂質赤色土(4層red) 高文?	
35	2004	2	4	4	H6	3	胴部(下半部?)		条痕	丁寧なナデ	淡茶褐色	茶褐色	チャート, 径1~2mmの小礫	良好		
36	2004	2	4	6	I2	9	胴部	工具押圧	(不詳)	ナデ・擦痕	暗茶褐色	黒褐色	径1mm程の小礫	良好	実際は3層出土	

Table 3-2-2 (続き) 出土土器属性表
Table 3-2-2 (continued) Pottery attributes

図 No.	調査 年度	Sector	層位等	人工層位 Пласт	グリッ ド	取上 げNo.	部位	加飾	調整		色調		胎土	焼成	備考	
									外面	内面	外面	内面				
37	2004		2	4	6 H2	238	胴部		ナデ?・ (摩滅)	条痕のち ナデ	淡茶褐色	暗灰褐色	径1~3mmの小礫・繊維痕	良好	外面に繊維 痕 211~ 212と同一 個体?	
38 39	2004		2	4	6(清掃 時)	12	211~ 212	胴部		ナデ?・ (摩滅)	条痕のち ナデ	淡茶褐色	暗灰褐色	径1~3mmの小礫	良好	2破片 擬 口縁
40	2004		2	3	4 G4	N9	胴部		条痕・(摩 滅)	丁寧なナ デ	淡茶褐色	暗灰褐色	径1~3mmの小礫多し	良好		
41	2004		2	4	6 H3	N19	胴部		ナデ?・ (摩滅)	(摩滅)	暗灰褐色	灰黄褐色	長石・石英・径1~5mmの小 礫	良好だが摩 滅激しい	正位置不明	
42	2003		1	5	6(1号ほ み地形3)	E3	—	口縁部	焼成前穿孔	条痕	条痕	暗灰茶褐 色	暗灰茶褐 色	長石・径1~2mmの小礫	良好だが脆 い	
43	2003		1	5	8	B2	B-2- 79	口縁部	焼成前穿孔	条痕のち ナデ	条痕	暗茶褐色	暗茶褐色	雲母(少量)・径2mm程の 小礫	良好	
44	2004		1	5	10	C2	2	口縁部	工具刺突・焼 成前穿孔	(摩滅)	条痕	淡褐色	暗茶褐 色・黒褐 色	長石・径1~2mm程の小礫	良好だが外 面摩滅激し い	5層(黒色 土)上面よ り出土 9/20付着炭 化物採取 年代測定実 施
45	2004		1	5	10	C1	23	胴部(口縁 部付近?)	工具押圧	丁寧なナ デ	条痕のち ナデ	暗茶褐色	暗灰褐色	径1mm程の小礫・やや緻 密	良好	
46	2003		1	5	9	C2	N16	胴部(屈曲 部)	工具ナデつ け・工具押圧	摩滅	(摩滅)	褐色	褐色	径3mm程の小礫	良好	
47	2003		1	5	9	C2	N19	口縁部	工具押圧	ナデ	条痕	黄褐色	灰褐色	長石・クサリ礫多し・繊維 痕・径7mmの小礫あり	良好	
48 49	2004		1	5	10	B1	18	胴部(屈曲 部)		(摩滅)	条痕のち ナデ	明白茶褐 色	暗茶褐色	石英・長石・赤色班粒・径1 ~2mmの小礫・繊維痕	良好だが摩 滅激しい	2破片 内 面炭化物付 着
50 51	2004		1	5	10	C2	1	胴部(底部 付近?)		条痕のち ナデ?	(摩滅)	明褐色	暗灰褐色	石英・長石・径1~2mmの小 礫・繊維痕・粗い	良好だが摩 滅激しい	5層(黒色 土)上面よ り出土
52 53	2003		1	5	8	B3	N39	胴部	工具押圧	ナデ	(摩滅)	暗茶褐 色・褐色	暗茶褐色	雲母(少量)・径2~5mm 程の小礫	良好	同一個体
54	2004		1	5	11	C1	4	胴部		(不詳)	(剥離)	灰褐色		(不詳)	不良もろく 軟質	汚れのため 器面観察不 十分
55 56 57	2003		1	5	8	B2	C.K.1	胴部・底 部?	工具押圧	ナデ	ナデ	褐色・黄 褐色	灰黒褐 色・暗灰 色	長石・クサリ礫・繊維痕・ 径2~5mmの小礫	良好だが摩 滅激しい	同一個体

外側から内側へ穿孔され、内面の条痕より後に刺突されている。口縁端部は大振りの櫛歯状工具により押圧される。外面は黄褐色、内面は灰褐色。胎土はクサリ礫が多く、長石、径7mmの角礫を含む。繊維痕が認められる。焼成は良好。

48~56は、胴部片である。48・49は、同一個体である。49は、外面は弱く屈曲するが、内面は平坦である。屈曲部か。48は内外面ともに摩滅し、調整不詳。49の内面は、横方向の条痕の後、ナデ。49の内面には炭化物が付着する。外面は明白茶褐色、内面は暗茶褐色。胎土に石英、長石、赤色班粒、径1~2mmの小礫を含み、繊維痕が残る。焼成は良好だが、摩滅が激しい。50・51は、同一個体で、直線的に立ち上がる。外面は縦方向の条痕。条痕調整の後に、ナデを加えている可能性がある。内面は摩滅。外面は明褐色、内面は暗灰褐色。胎土は石英、長石、径1~2mmの小礫を含み、粗い。繊維痕が見られる。焼成は良好だが、摩滅が激しい。底部付近の破片か。52・53は同一個体である。直線的に立ち上がり、外面に工具押圧が加わる。外面はナデ。52には、斜方向から櫛歯状工具による押圧が加わる。内面は摩滅。内外面ともに暗茶褐色。53は、外面褐色。胎土に雲母を少量含み、径2mm程の小礫が多い。焼成は良好。54は、直線的に立ち上がるか。外面は摩滅と汚れにより、内面は剥落のため、器面調整は不明。外面は灰褐色。胎土は不詳。焼成は不良で、もろく軟質。出土時は非常に軟質で、器形が歪む。そのため、拓本

採取は不可能で、本来の器形は不明である。55は、器壁が外傾して立ち上がる。外面は下端に工具押圧があり、その上位はヨコナデ。外面の上半はナデか。断面では、斜め上方向に流れる粘土の動きが認められる。内面は下位はヨコナデ、上位はナデか。外面は褐色、内面は灰黒褐色。胎土に長石、クサリ礫を含み、径2～5mm程の小礫と繊維痕が多い。焼成は良好だが、摩滅が激しい。底部直上と考えられる。56は、直線的に外傾して立ち上がる。外面はナデだが器面の剥離が激しい。内面は摩滅。断面に、粘土接合痕が見られる。外面は褐色、内面は暗灰色。胎土に花崗岩を含み、径2～5mmの小礫が多い。焼成は良好。57と同一個体。57は、底部片で、平底になるか。外面は摩滅。底面外端に櫛歯状工具の圧痕が残る。内面はヨコナデ。外面は暗褐色、内面は灰黒褐色。胎土にクサリ礫、長石を含み、径2mm程の小礫が多い。焼成は良好だが、摩滅が激しい。56と同一個体。

3-5-2-8 土器の分類と時期差

出土した土器は破片が多く、本来の形状が不明なものが多い。しかしながら、口縁部など特徴的な部位を中心に、以下の様に分類できる。その際、条痕調整を含む無文のものは分類から除外した。

1類 (13・17・18・21・47・52)：器壁の厚さが1cmを超える厚手の土器。口縁部は内傾するものと、直立あるいはやや外傾するものがある。口縁端部は丸く収める。胴部が屈曲する。55・57が本類であるならば、平底である可能性が高い。

1a類 (17・18・21・47)：口縁部外面と口縁端部に大振りの櫛歯状工具による押圧が施される。

1b類 (52)：外面に細身の櫛歯状工具による押圧が施される。

1c類 (13)：加飾がないもの。

2類 (24・26・27)：器壁の厚さが1cmを超える厚手の土器の内、1類に含まれないもの。

2a類 (24)：口縁部が直立し、口縁端部を面取りする。

ab類 (26)：口縁部が大きく開き、内弯気味に立ち上がるもの。口縁端部を面取りし、浅い押圧を加える。器高の低い浅鉢状の器形を呈する可能性がある。

2c類 (27)：内外面ともに加飾が見られないもの。口縁端部外面を面取りする。器形は不明。

3類 (34・45・46)：1類と同じく胴部が屈曲するが、器壁の厚さが1類よりも薄手の8mm程のもの。口縁部～胴部にかけて工具刺突列が数段巡り、屈曲部に刺突列が巡ると考えられる。

4類 (1・2・3・4・25・42・43・44)：器壁の厚さが5～6mm程で、口縁端部を面取りするもの。口縁部の立ち上がりは、直立に近い。焼成前に施されたと考えられる穿孔を持つものが多い。面取り後に口縁端部に加飾されるものが多いが、その内容は多様である。

4a類 (2・3・42・43・44)：穿孔を持つもの。外面の加飾には、櫛歯状工具の浅い押圧(3)と工具押圧(42・44)がある。

4b類 (4)：穿孔を持たず、外面に工具押圧が施されるもの。

4c類 (1)：加飾が認められないもの。

5類 (19)：器壁の厚さが5～6mm程である点は4類と同じだが、口縁端部形態が不明なため、分類を分けた。外面は、凹線中に工具刺突を施す他、刺突列が巡る。

6類 (5)：口縁部に肥厚帯を持つ可能性があるもの。

上記の内、1類と4類の出土点数が多く、この両者が本遺跡におけるオシボフカ文化の中心的な土器である。両者は、器壁の厚さが異なり、4類の方が概して端正な作りである。また、口縁端部における面取りの有無が異なる。技術的、形態的の差異が大きいと言える。この差異が、時期差であるか、同時期の器

種あるいは系統の違いであるかが問題となる。

改めて1類と4類の出土層位を確認する。1類は、3～5層の全てから出土している。また、1類の可能性が高い器壁の厚さが1cmを超える厚手の無文の胴部片は、4・5層において主体を占める。一方、4類は、4・5層から出土し、1号遺構出土土器の中では主体を占める。このように1号くぼみ地形において4類が主体を占めることを以て、1類と4類を時期差として捉えるには、根拠としてはいささか弱い。将来的に発掘調査事例を増やし、周辺の調査事例と比較することであらためて、この問題については再考する必要がある。

3-5-2-9 製作技術上の特徴

これまでの所見に基づき、出土土器の技術的な特徴についてまとめる。

1) 器形

土器製作の上で、製作技術全体を大きく左右するのは、底部形態である。底部から成形する場合、平底、丸底、尖底では、自ずと成形時の土器の据え方が異なる。また、底部形態の違いは、底部の後に成形する、胴部の成形過程にも大きく影響する。本調査では、平底の底部の可能性のあるものが出土しているが(57)、明確な底部片が乏しい。オシノヴァヤレーチカ10遺跡では平底の土器が報告されている(橋詰ほか編2016)。本調査で出土した土器も平底である蓋然性が高く、オシポフカ文化の土器は、平底が主体であると考えられる。

底部形態以外の器形の特徴としては、先述の1類に見られるような、胴部の屈曲が挙げられる。1類が古く、4類が新しいとするならば、胴部の屈曲はやがて弱まると考えられる。その中間的な形態として3類が位置付けられる可能性がある。

2) 成形技術

土器の成形方法に関して注目すべきは、破面上端に擬口縁を有する個体(15・19・30・38・39)や、破面下端に擬口縁の受部を有する個体(12)が見られる点である。これは、一定の単位ごとに器壁を積上げて成形した後に、器壁を積上げていることを意味する。器壁を積上げていく際、生地の重みにより器形が歪むのを防ぐため、半乾燥させて生地を硬化させながら成形していると考えられる。では、生地の積上げ方法は何か。

報告した資料には、左右の破面に、成形時における生地の結合に由来する剥離面は認められない。当該期の土器にはパッチワーク成形の指摘があるが(栗島1999)、本調査の出土土器については、その可能性はない。器面が剥離する個体(54)もあるが、結合面で生じた剥離とは認め難い。剥離面は凹凸が激しく、平坦ではないことから、使用による被熱が原因と考えるべきである。むしろ、一般的な縄文土器の成形と同じく、輪積み成形である可能性が高い。

3) 器面調整

器面調整の特徴としては、条痕調整が顕著に認められる点である。出土土器について口縁部片を中心に1～6類に分類したが、その中の1～4類では、何らかの形で条痕調整が確認できるものが大半である。条痕調整を積極的に用いる点、オシポフカ文化における土器の特徴の一つと考えられる。条痕調整の効果としては、器面を平滑に整えるだけでなく、生地を伸ばし、積上げた生地同士の結合を強化する効果が期待される。また、調整時の力の入れ具合によっては、余分な生地をこそぎ落す、ケズリと同様の効果もある。つまり、条痕調整には、器面調整技法と成形技法という異なる側面がある。ノヴォトロイツコエ10遺跡の土器に顕著に見られる条痕調整であるが、その用いられ方は一様ではない。以下、報告資料の

主体である1類と4類を中心に比較する。

1類の内面調整は、条痕調整のものが認められる(47)ものの、大半はナデ調整である。むしろ、18のように内面の起伏が顕著に残るものがあり、積極的に内面に条痕調整が用いられたとは認め難い。一方、1類の外表面調整はすべてナデ調整である。一旦、条痕調整をした後、これをナデ消した可能性も考えられる。しかしながら、1類の外表面には緩やかな起伏が認められ、その可能性は低い。内面に条痕調整が残るものが認められるものの、器面調整がナデ調整主体である点は、2類も同様である。これに対し、4類は、内面を中心に器面に条痕調整が残るものが主体である。また、条痕が無いものでも、器面は平滑である。4類の器面調整は条痕調整が基本であり、さらに条痕をナデ消しているものと考えられる。1類と4類では器壁の厚さが異なるが、条痕調整を積極的に採用することにより、オシポフカ文化の土器は薄手化した可能性がある。

4) 加飾

確認された加飾は主に3種ある。①1類に見られる櫛歯状工具を押圧するもの、②3類に見られる口縁部に複数条の押圧列を配するもの、③4類に見られる口縁部に円形刺突を配するものである。想定される土器の変化に照らし合わせると、①から③へと変遷すると考えられる。これ以外にも工具ナデ付け(4)や凹線内に刺突を施すもの(19)などがあり、多様である。そのため、これらの加飾が系統だって変化したかは、即断出来ない。

(村上)

註

1) Table 3-2-1～2の出土土器属性表については、調査担当者の一人である村上が、現場所見等を踏まえて記載を行っているが、その後のロシア側における整理作業によって、遺物番号や取上げ番号等の変更が行われていることが判明した。そのため、Table 3-3-1～14のノヴォトロイツコエ10遺跡出土遺物属性表との間に若干の相違が生じている。ここでは、明かな誤記載と考えられるグリッド名やプラスト等については修正を行って、可能な限りTable 3-3-1～14のノヴォトロイツコエ10遺跡出土遺物属性表との対応をとった。また、追加情報については、Table 3-2-1～2の出土土器属性表の備考欄に記載をした。

(内田)

3-6 小結

まず、調査に先立って整理した、これまでの調査での課題と、本調査の目的を再確認する。1) 先行調査での課題として、2001年に実施したゴンチャルカ1遺跡の日露共同調査(長沼ほか2003)では、豊富な石器資料や土器資料が得られた一方で、①後期新石器時代や初期鉄器時代など完新世以降に帰属する遺物も多数出土しており、②寒冷地性の土壌攪乱の影響も認められ、③文化編年上の異なる時期に帰属する遺物や炭化物が混在している可能性があることが判明した。そのため、2) 新たな調査の目的として、ゴンチャルカ1遺跡とは別の遺跡を複数発掘することによって基礎データを蓄積し、改めてゴンチャルカ1遺跡の出土資料を再考することを設定した。こうした経緯の延長線上で、ゴンチャルカ1遺跡と同じノヴォトロイツコエ遺跡群内に存在し、オシポフカ文化期の包含層が試掘によって既に判明しているが、本格的な発掘調査には未着手であったノヴォトロイツコエ10遺跡が2003年からの調査地として選定された。

ゴンチャルカ1遺跡の調査によって生じた課題のうち、①については、本遺跡ではオシポフカ文化期以外の土器、石器は出土しておらず、より条件の良い遺跡の調査をおこなうことができたと評価できる。②については、本遺跡ではゴンチャルカ1遺跡で確認された氷楔(アイスウェッジ、長沼ほか2003)のよ

うな寒冷地性の土壌攪乱の痕跡は確認できなかった。この点でも本遺跡はより条件の良い遺跡と評価できる。こうした点から、ゴンチャルカ 1 遺跡に比べ、本遺跡は、③の課題について、少なくともオシポフカ文化期以外の時期の石器や土器を含む可能性の低い遺跡であると評価できる。

本遺跡の位置づけに関して、出土遺物の特徴についてまとめると、まず石器に関しては、両面加工の石器と細石刃関連の石器が中心となる。両面加工の石器には、多様な形態の尖頭器や搔器などが含まれ、剥片石器の中には両面加工の石器製作に伴って生じた剥片を素材としたものも多く、両面加工の石器製作に他の剥片石器への素材供給の役割が埋め込まれている。また、大形～小形の尖頭器に加え、わずかではあるが、有茎尖頭器および石鏃も 1 点ずつ出土している。小形の両面加工尖頭器や周辺加工尖頭器の中には石鏃と変わらないサイズで、押圧剥離によって調整されたと推定できるものも含まれる。細石刃関連の石器には湧別技法類似の技術によるものと、近傍の河川で採集可能な中～小形の円礫・亜円礫を素材により簡略な調整によって作出された細石刃核によるものが含まれる。これらに加え、わずかではあるが磨石や石錘、穿孔のある礫などが加わる。石器石材については、最も多く使われているのは暗灰色で緻密な堆積岩である。これらの中には頁岩や泥岩、そしてこれらが熱による変成をうけて生じたと考えられるホルンフェルスが含まれる。これらの石材は特に両面加工の石器とそれに関連する剥片石器に多く用いられている。このような、石器器種や使用石材の傾向は本遺跡周辺のオシポフカ文化期遺跡に広く共通するものである。また、橋詰ほか編 (2016) で報告したオシノヴァヤレーチカ 10 遺跡は、緑灰色で緻密な堆積岩 (頁岩) を多用する点で本遺跡とは使用石材の傾向が異なるが、両面加工の石器やそれに関連する剥片石器、細石刃関連の石器の特徴など共通点を有する。さらに、上記したような周辺のオシポフカ文化期遺跡と広く共通する要素以外にも、石鏃や有茎尖頭器、磨石や石錘などといった特徴的な器種を共通して出土しており、両遺跡の間にはより強い類似性を認めることができる。

また、本遺跡では比較的豊富な炭化物が出土しており、多数の年代測定用サンプルの採取に成功している。國木田ほか (2017) では、年代測定を実施した 17 点の炭化物試料のうち、多くの試料 (11 点) が 11,000 ^{14}C yr BP 代前半の値を示し、較正年代も約 13,000 cal yr BP が分布の中心であると推定された。この年代値は、國木田・松崎 (2016) で報告されたオシノヴァヤレーチカ 10 遺跡の年代値 (11,150 ~ 10,930 ^{14}C yr BP, 13,094 ~ 12,952 cal yr BP, 1 σ) に非常に近い。こうした点からも、本遺跡とオシノヴァヤレーチカ 10 遺跡とが年代的に比較的近い関係であることを推定できる。

さらに、本遺跡では計 80 箇所の出土地点の 3 次元位置情報を記録して、土器片を取り上げている。この中には、村上 (2017) で 6 つの類型に分類された比較的豊富な土器資料が含まれている。この中には、Kunikita et al. (2013) および國木田ほか (2017) で年代測定が実施された内面に炭化物の付着が認められた土器も含まれる。橋詰ほか編 (2016) で報告されたオシノヴァヤレーチカ 10 遺跡出土土器は、本遺跡出土土器の 1 類のみであるのに対し、より豊富なヴァリエーションを有しているといえる。

加えて、今回の調査では、1 点のみであるが 69 の石錘のような漁労具も発見された。これまでも、オシポフカ文化期遺跡では漁労具と推定される石錘の発見はあったが共伴関係が確実でない例が多かった (長沼 2004, 2010)。橋詰ほか編 (2016) で報告したオシノヴァヤレーチカ 10 遺跡での事例と共に、今回の発見は、より可能性の高い共伴例を追加できたと評価することができる。Махинов (2006) による、更新世末期にはアムール川とウスリー川が現在より高水位で、冠水域がより広範囲に及んでいたとの推定と、冠水域の推定に対してオシポフカ文化期の遺跡分布を重ねて検討した Шевкомуд и Яншина (2012) の結果が正しいとすれば、オシポフカ文化期の遺跡が残された場所は後期更新世末期には半島あるいは島状に残された地形であり、水産資源とのかかわりが密な景観であった可能性がある。Махинов (2006) の推定自

体の妥当性についても慎重に検討をおこないながら議論を進める必要があるが、これまでも想定されてきたオシポフカ文化期における漁労について、考古学的、地質学的なデータの蓄積によって当該期の生業について、より具体的な検討を可能とする事例の蓄積が進みつつあると言える。

一方で残された課題も存在する。グリッドC-F～3-5の3層上部で、多くの人工遺物や炉跡を内部に含む窪み地形を確認し、本報告では1号くぼみ地形と呼称した (Fig.3-4)。大きさは、長軸方向に4 mほど、短軸方向に3 mほど、深さ0.6 mで床面は6層の砂礫層に達する。平面形や床面 (の可能性のある箇所) も不整形で、人為的な掘り込みであると認めるのは難しい。風倒木など自然の営為で形成された可能性があるが、人工遺物や炉跡などが伴うことから、この地形を利用してなんらかの人類の活動がおこなわれていたことは推測できる。オシポフカ文化期の住居址や遺構については、現状では反証可能性を十分に担保可能な形で記録が残されている事例は少ない。本遺跡の事例も含め、今後の類例を待った上で改めて検討する必要がある。また、石器および年代測定例からは、本遺跡はオシポフカ文化期の中でも比較的限定された時間幅 (13,000 cal yr BP 前後) に収まる可能性があり、オシノヴァヤレーチカ 10 遺跡とも時間的に近い可能性を推定した。一方で、本遺跡はオシノヴァヤレーチカ 10 遺跡に比べ、より豊富な土器のヴァリエーションを有する。こうしたヴァリエーションを本遺跡の時間幅の広さで解釈するのか、あるいは土器の出土点数や炭化物の出土が多いことなどから唆される本遺跡でおこなわれた活動の結果生じたと解釈するのか、今後も慎重な検討が必要である。

本遺跡と同じノヴォトロイツコエ遺跡群に属するゴンチャルカ 1 遺跡は、学史上でも既に著名な存在である (シェフカムート 1997; 長沼ほか 2003; Шевкомуд и Яншина 2012)。しかし、ゴンチャルカ 1 遺跡は非常に多様で豊富な遺物が出土した一方、オシポフカ文化期以外の遺物の混在の可能性もある。さらに、年代測定値などからオシポフカ文化内に新旧の段階差が存在することが想定されていながらも (長沼ほか 2003)、寒冷地性の土壌攪乱の影響によって出土遺物のセット関係が不明瞭であり、こうした段階差を追認できるような出土遺物の区分が困難であるなどの問題があった。こうした問題点の克服を目指して、より条件の良い事例の蓄積を目指して調査がおこなわれた本遺跡は、遺構の可能性も有する1号くぼみ地形などを検出しながらも、ロシア側の調査担当者の急逝などもあり、調査記録の整理に困難な状況が伴っていた。そうした状況にもかかわらず、今回の整理、分析作業によって、本遺跡はオシポフカ文化期以外の遺物の混在の可能性は低い一方、13,000 cal yr BP 前後に位置づけられる可能性が高く、こうした年代値や出土遺物の特徴 (「4. 成果と課題」および「5-2 年代測定に関するコメント」参照) は、隣接する遺跡群であるオシノヴァヤレーチカ 10 遺跡などとも対比可能であることが明らかとなった。次年度 (2017 年度) には、ゴンチャルカ 1 遺跡の 2001 年発掘調査成果の報告を目指す。橋詰ほか編 (2016) および本報告 (橋詰ほか編 2017) で得られた成果をもとに、ゴンチャルカ 1 遺跡の調査成果を再評価する作業に取り組む予定である。

(橋詰)

Table 3-3-1 ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-1 Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
38	2003	A-1	4	6	1	細石刃核	頁岩 (黄灰白色)	完形	6.8	2.5	5.3	54.4	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	A-1	4	6	2	細石刃	頁岩 (黄灰白色)	下部欠	2.3	0.7	0.3	0.4	稜調整、側縁微細剥離痕、遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	A-1	4	6	3	土器片	—	—	—	—	—	6.0	4点在中
	2003	A-1	4	7	1	尖頭器 (両面加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.7	2.6	0.9	6.8	細身
7	2003	A-1	4	7	2	尖頭器 (両面加工)	無斑晶質安山岩	完形	8.5	3.3	1.0	23.8	木葉形
	2003	A-1	4	7	3	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	2.6	3.9	1.3	8.1	尖頭器などの断片?
	2003	A-1	5	9	1	半両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	5.0	4.1	1.4	18.2	ほぼ片面加工。尖頭器あるいは搔器(両面加工)の破片
	2003	A-1	5	9	2	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (黄灰白色)	下部欠	5.4	1.7	0.7	5.6	細形、押圧剥離使用。厚手でやや不整形。遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003 or 2004	A-2	4	5	26	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.0	4.4	1.9	20.1	緻密だが節理多い
	2003 or 2004	A-2	4	6	8	搔器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	3.1	3.8	0.8	9.9	
	2003 or 2004	A-2	4	6	43	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	7.4	4.8	2.1	87.9	撥形
66	2003	A-2	5	8	14	穿孔のある礫	緑灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	2.7	2.5	0.4	2.6	表裏から回転穿孔
	2003	A-2	5	9	3	両面加工石器	頁岩 (黄灰白色)	完形	3.8	2.2	0.9	7.7	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	A-2	5	9	20	尖頭器 (両面加工)	碧玉 (紫褐色)	完形	5.2	2.3	1.0	10.9	遺跡近傍河川で採集可能な石材。不整形、未成品もしくは技量の低い製作者による?
	2003	A-2	5	9	21	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	2.4	1.3	0.3	1.0	二次加工なし
	2003	A-2	5	9	22	細石刃	頁岩 (黄灰白色)	上下欠	1.0	0.4	0.1	—	遺跡近傍河川で採集可能な石材。重量計測不可(0.1g未満)
35	2003	A-2	5	9	23	細石刃核	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.8	0.6	4.0	9.2	両面加工石器が母型。湧別技法。細石刃はヒンジ発生で長いものが取れていない
	2003	A-2	5	9	24	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (先端部欠)	4.1	1.7	0.6	3.1	押圧剥離による。基部三角形。器体中央やや下部のコブが除去できていない
	2003	A-2	5	9	42	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (下端欠)	4.5	1.8	0.6	5.3	
13	2003	A-3	4	3	1	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (黄褐色)	完形	4.4	2.9	0.9	9.6	木葉形。遺跡近傍河川で採集可能な石材。表裏礫面。扁平礫素材。細石刃核母型?
	2003	A-3	4	4	3	土器片	—	—	—	—	—	6.2	
	2003	A-3	4	5	1	土器片	—	—	—	—	—	7.7	
	2003 or 2004	A-3	4	6	9	細石刃	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	1.4	0.5	0.2	0.2	
	2003 or 2004	A-3	4	6	10	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.4	2.9	1.0	10.9	素材剥片横位に使用。未成品。尖頭部のみ作出
	2003 or 2004	A-3		6	11	両面加工石器	チャート (暗紫褐色)	左部下部欠	3.7	2.1	1.1	9.1	不整形
	2003 or 2004	A-3	4	6	12	土器片	—	—	—	—	—	13.4	5点在中
	2003 or 2004	A-3	4	6	13	両面加工石器	頁岩 (黄灰白色)	完形	3.4	2.6	0.7	6.0	素材の扁平な礫を直接加工。遺跡近傍河川で採集可能な石材。不整形
42	2003 or 2004	A-3	4	6	46	削片	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	2.8	0.9	1.1	2.7	ファーストスボール。実測図では遺物No.45となっていた。写真図版用の写真なし。
	2003 or 2004	A-3	4	6	53	細石刃	珩質頁岩 (灰白色)	下部欠	1.3	0.4	0.1	—	重量計測不可(0.1g未満)
	2003 or 2004	A-3	4	6	52_1	細石刃	緑灰色堆積岩 (緻密)	上下部欠	0.7	0.4	0.1	—	重量計測不可(0.1g未満)
	2003 or 2004	A-3	4	6	52_2	細石刃	チャート (灰色)	上下部欠	0.6	0.3	0.1	—	重量計測不可(0.1g未満)
	2003	A-3	4	7	4	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	左部欠	5.0	2.7	0.8	10.2	素材剥片を縦位に使用
	2003	A-3	4	7	5	土器片	—	—	—	—	—	12.4	5点在中

Table 3-3-2 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-2 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
52	2003	A-3	5	8	4	搔器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.5	3.1	1.3	20.6	素材剥片を縦位に使用．平面三角形．刃部方向から両側縁に彫器状剥離(転用?)
	2003	A-3	5	8	5	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.8	3.0	1.5	25.6	不整形．未成品
	2003 or 2004	A-3	5	8	44	二次加工のある剥片	灰白色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形(打面欠)	2.6	1.7	0.3	1.2	
	2003 or 2004	A-3	不明	8	43	削器	チャート (灰色)	完形	5.2	3.1	0.9	14.1	プラスチック取り上げから抽出された二次加工有する石器
19	2003 or 2004	A-4	3	2	2	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (暗黄色)	完形	3.4	1.1	0.4	1.1	小形で細形，押圧使用．押圧剥離は長軸に直角に並ぶ．遺跡近傍河川で採集可能な石材
68	2003 or 2004	A-4	4	5	記載なし	磨石	砂岩	完形	25.9	19.8	7.4	4000.0	表裏両面に磨面
	2003	A-4	4	7	6	搔器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.6	3.0	0.8	12.7	楕円形．基部方向にやや収斂し尖頭状となる．素材剥片腹面大きく残す．素材剥片縦位に使用．表面摩耗
	2003 or 2004	A-4	4	7	7	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.5	1.4	0.3	1.4	二次加工なし
	2003	A-4	4	7	8	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (灰色)	上下部欠	1.5	1.4	0.3	0.8	細形，押圧剥離使用．押圧剥離は超軸に対し右上がりでも左上がりでもなく，しいて言えばV字状
	2003	A-4	4	7	10	土器片	—	—	—	—	—	6.8	
	2003	A-4	4	7	11	土器片	—	—	—	—	—	5.3	
	2003 or 2004	A-4	4	7	46	石核	頁岩 (暗赤褐色)	完形	3.5	3.4	1.4	13.8	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	A-4	5	8	1	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	4.5	3.6	1.0	14.9	
36	2003	A-4	5	8	2	細石刃核	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.1	0.9	3.2	9.5	両面加工の石器が素材．尖頭器などの欠損品転用の可能性あり．その場合，折れ面に当たる箇所にはスポールを剥ぎ，そこを打面に尖頭器側縁に当たる箇所に対し細石刃を剥離．細石刃剥離面はステップが生じ長いものが剥離できていない．
14	2003	A-4	5	8	3	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.4	1.3	0.5	2.4	小形でかつ細形．押圧剥離による調整と考えられる．素材剥片を縦位に使用
	2003	A-4	5	8	7	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (黄灰白色)	完形	4.6	2.4	0.6	6.0	小形木葉形．遺跡近傍で採集可能な石材．
	2003	A-4	5	8	8	尖頭器 (両面加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形(先端部ガジリ)	3.4	2.0	0.7	4.3	小形木葉形．不整形．折れが生じた尖頭器を再加工か？
	2003 or 2004	A-4	不明	6	5	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.7	4.2	1.4	28.9	三角形の平面形，表面摩耗光沢
	2003 or 2004	A-4	不明	6	6	尖頭器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.0	2.1	0.7	4.0	素材剥片縦位に使用．表面摩耗光沢
	2003 or 2004	A-4	不明	6	7	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	5.6	2.8	0.6	8.2	細身．表面摩耗
	2003	B-1	4	5	2	尖頭器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	3.4	2.7	0.4	3.9	素材剥片を縦位に使用
	2003 or 2004	B-1	4	6	15	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (粗粒)	下半欠	3.2	1.9	0.5	3.2	細形．表面摩耗
	2003 or 2004	B-1	4	6	16	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (粗粒)	完形	3.8	1.4	0.4	2.2	細形．表面摩耗
	2003 or 2004	B-1	4	6	17	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	2.2	2.2	0.8	3.1	両面加工尖頭器の断片
	2003	B-1	4	6	17	尖頭器 (両面加工)	無斑晶質安山岩	下半欠	3.6	2.7	1.1	9.9	木葉形
	2003	B-1	4	7	18	搔器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.6	3.8	1.3	31.0	楕円形．素材剥片腹面大きく残す．素材剥片横位に使用
11	2003	B-1	4	7	19	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (やや珪質)	完形	5.4	2.0	0.7	5.5	木葉形
23	2003 or 2004	B-1	4	7	44	尖頭器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	2.3	1.7	0.3	1.2	小形木葉形．表面摩耗．素材剥片を縦位に使用
	2003	B-1	5	8	13	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	先端部欠	4.2	1.9	0.4	3.0	小形で細形

Table 3-3-3 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-3 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласс	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003	B-1	5	8	37	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部ガジリ, 下部欠	2.9	1.5	0.5	2.2	
	2003	B-1	5	9	4	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.7	3.9	1.0	21.6	平面形やや丸みを帯びた三角形。刃部鈍角
	2004	B-1	5	10	17	細石刃	頁岩 (黄灰白色)	ほぼ完形 (下端欠)	1.4	0.6	0.2	—	遺跡近傍河川で採集可能な石材。重量計測不可(0.1g未満)。
	2004	B-1	5	10	18	土器片	—	—	—	—	—	13.9	内面炭化物付着
	2003 or 2004	B-1	5	10	27	細石刃	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	1.8	0.8	0.2	0.3	
	2004	B-1	5	11	5	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.2	2.0	0.7	4.5	尖頭部などは未作出。不整形。古い折れ面を除去できないままになっている。層位は5Bとラベルに記載あり
	2003	B-2	4	7	15	土器片	—	—	—	—	—	5.1	
	2003	B-2	4	7	16	両面加工石器	緑灰色堆積岩 (緻密)	右半欠	6.5	3.6	2.2	28.5	欠損した断片
	2003	B-2	5	8	15	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (先端部欠)	6.4	1.6	0.6	6.1	細形。押圧使用か
45	2003	B-2	5	8	16	削片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.5	0.8	0.6	1.9	セカンドスボール。表面摩擦。両面加工石器を母型とした薄別技法による
	2003	B-2	5	8	17	削器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.3	2.0	1.0	9.9	片面加工の木葉形尖頭器様の平面形。ただし側面観が素材剥片の形を反映し非常に湾曲。素材剥片を縦位に使用
	2003	B-2	5	8	18	細石刃	玉髓 (黄橙色)	上下部欠	1.2	0.9	0.2	0.1	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	B-2	5	8	19	土器片	—	—	—	—	—	4.0	
	2003	B-2	5	8	32	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (下端欠)	3.4	1.6	0.7	3.5	小形木葉形。やや細身
16	2003	B-2	5	8	33	尖頭器 (両面加工)	チャート (灰色)	ほぼ完形	4.0	1.5	0.3	1.6	細身。基部三角形。非常に薄手で押圧剥離使用。石織的
	2003	B-2	5	8	34	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下部欠	4.3	1.1	0.6	2.9	表面激しく摩耗。細形
	2003	B-2	5	8	35	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下部欠	3.3	1.0	0.5	1.9	表面激しく摩耗。細形
	2003	B-2	5	8	36	尖頭器 (周辺加工)	頁岩 (暗黄褐色)	完形	2.4	1.4	0.3	1.0	遺跡近傍河川で採集可能な石材。小形木葉形。押圧使用？平面不整形。未成品？
	2003 or 2004	B-2	5	8	66	土器片	—	—	—	—	—	2.7	
	2003 or 2004	B-2	5	8	67	土器片	—	—	—	—	—	5.1	
	2003 or 2004	B-2	5	8	68	土器片	—	—	—	—	—	9.2	
	2003	B-2	5	9	5	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	4.7	3.2	0.9	11.1	
	2003	B-2	5	9	9	細石刃	碧玉 (黄褐色, 黄玉)	完形	2.1	0.8	0.3	0.5	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	B-2	5	9	10	二次加工のある剥片	流紋岩	完形	3.3	3.2	0.9	10.3	ガラス質
	2003	B-2	5	9	25	二次加工のある礫	頁岩 (黄灰白色)	下半欠	3.5	3.9	0.8	13.9	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	B-2	5	9	26	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	6.6	2.7	0.9	19.7	表面激しく摩耗。木葉形。やや不整形
	2003	B-2	5	9	27	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (暗黄褐色)	完形	3.6	2.1	0.6	4.3	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	B-2	5	9	28	石核	碧玉 (暗紫褐色)	完形	3.5	2.6	4.1	20.5	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2004	B-2	5	10	20	尖頭器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	2.7	2.3	0.4	3.2	素材剥片を縦位に使用
	2004	B-2	5	10	24	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	上部ガジリ	5.1	1.5	0.4	3.7	柳葉形。表面摩擦。押圧剥離使用
	2003 or 2004	B-2	不明	8	45	尖頭器 (両面加工)	珪質頁岩 (黄灰白色)	下部欠	2.3	1.9	0.5	1.5	碧玉？押圧剥離使用。遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	B-3	4	4	2	土器片	—	—	—	—	—	9.3	
	2003	B-3	4	7	12	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (黄灰白色)	上部欠	3.0	1.9	0.5	2.7	遺跡近傍河川で採集可能な石材。押圧剥離使用。不整形
	2003	B-3	4	7	13	土器片	—	—	—	—	—	71.3	

Table 3-3-4 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-4 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
41	2003	B-3	4	7	14	削片	チャート (暗灰色良質)	ほぼ完形 (下端欠)	5.3	0.9	0.8	4.6	ファーストスボール。非常に良質な石材。両面加工の母型から作出(湧別技法)
	2003 or 2004	B-3	4	7	45	削器	珩質頁岩 (灰白色)	完形	5.2	2.5	0.5	5.1	
	2003 or 2004	B-3	4	8	48	二次加工のある礫	珩質頁岩 (黄灰白色)	完形	5.0	2.8	0.9	10.6	遺跡近傍河川で採集可能な石材。扁平な縁辺に微細な剥離が施されている
	2003	B-3	5	8	11	搔器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	6.3	4.2	1.5	38.1	三角形の平面形(刃部やや丸み帯びる)。表面摩耗
	2003	B-3	5	8	31	二次加工のある礫	頁岩 (黄灰白色)	完形	4.1	2.6	1.2	14.9	遺跡近傍河川で採集可能な石材。両極技法使用と考えられる。楔形石器?
	2003	B-3	5	8	39	土器片	—	—	—	—	—	22.9	
8	2003	B-3	5	9	6	尖頭器 (両面加工)	無斑晶質安山岩	完形	7.3	2.7	1.0	15.9	菱形の平面形
	2003	B-3	5	9	7	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	3.0	3.0	1.3	7.0	素材剥片を縦位に使用。腹面には二次加工なし。尖頭器などの破片の可能性あり
	2003	B-3	5	9	8	石核	玉髓 (明黄灰色)	完形	3.7	3.1	2.7	38.5	遺跡近傍河川で採集可能な石材。台帳ではNo.13となっていたが誤り14に変更
	2003 or 2004	B-3	不明	8	47	二次加工のある礫	珩質頁岩 (黄灰白色)	完形	4.5	3.1	1.2	25.6	遺跡近傍河川で採集可能な円礫素材
	2003 or 2004	B-3	不明	8	49	細石刃	暗灰色堆積岩 (緻密)	上下右部欠	1.2	0.7	0.1	0.2	細石刃の破片
	2003 or 2004	B-3	不明	8	50	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	4.9	2.2	0.6	6.3	
	2003 or 2004	B-3	不明	8	51	削器	チャート (暗赤褐色)	左部欠	3.8	1.6	0.4	2.1	剥片の一辺に二次加工。尖頭器未成品の可能性も
	2003 or 2004	B-3	不明	8	52	石核	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.8	2.4	3.1	20.9	
	2003	B-4	4	6	C.K.1	土器片	—	—	—	—	—	112.0	
	2003	B-4	4	8	9	土器片	—	—	—	—	—	4.5	6点在中。遺物台帳と遺物種別が異なる要注意
	2003 or 2004	B-4	4	7_8	53	二次加工のある剥片	緑灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	4.9	4.0	0.7	9.5	ポイントフレーク縁辺に二次加工
	2003	B-4	5	8	30	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (黄褐色)	上半欠	2.6	2.2	0.6	2.4	遺跡近傍河川で採集可能な石材
69	2003	B-4	5	8	38	石錘	砂岩	完形	8.8	9.0	3.8	372.7	両側縁への剥離で抉り部作出(比較的完成形に近い抉りのある平面形の礫を選択している)。表面に溝状の痕跡あり。敲打や細い接触対象による研磨の結果と考えられる
12	2003	C-1	4	6	18	尖頭器 (両面加工)	無斑晶質安山岩	上半欠	5.1	2.3	0.6	6.3	細身
	2003	C-1	4	6	19	石核	頁岩 (黄灰色)	完形	2.9	3.0	2.0	13.3	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	C-1	5	8	20	細石刃	チャート (灰色)	上下部欠	1.1	0.4	0.1	0.1	
	2003	C-1	5	8	21	縦長剥片	玉髓 (黄褐色)	上下部欠	1.9	1.1	0.3	0.6	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	C-1	5	8	22	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.2	2.9	1.1	8.9	木葉形
	2003	C-1	5	8	23	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.2	3.7	1.6	18.5	木葉形。表面やや摩耗
	2003	C-1	5	9	29	細石刃	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	上部欠	1.7	0.5	0.2	0.1	灰色
	2003	C-1	5	9	30	細石刃	碧玉 (黄灰色)	下部欠	1.9	0.5	0.1	—	重量計測不可(0.1g未満)
	2003	C-1	5	9	31	土器片	—	—	—	—	—	8.8	
	2003	C-1	5	9	32	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	5.0	3.0	1.0	15.9	細身
	2003	C-1	5	9	33	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	5.5	1.5	0.6	4.0	
	2003	C-1	5	9	34	尖頭器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.9	2.3	0.5	4.5	木葉形。素材剥片縦位に使用。素材剥片腹面を大きく残す。先端部に折れ面残す
	2003	C-1	5	9	38	土器片	—	—	—	—	—	7.1	

Table 3-3-5 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-5 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003	C-1	5	9	39	土器片	—	—	—	—	—	6.9	4点在中
	2003 or 2004	C-1	5	10	23	土器片	—	—	—	—	—	5.2	半円状の櫛歯文
	2004	C-1	5	10	25	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.2	1.5	0.5	2.3	押圧剥離使用
	2004	C-1	5	11	4	土器片	—	—	—	—	—	23.3	破片多数在中。重さは合計。内面側と外面側が分離するように剥がれている
	2004	C-1	5	11	6	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	ほぼ完形(上下端ガジリ)	3.8	2.2	0.6	4.3	小形木葉形。表面やや摩耗
	2003 or 2004	C-1	5	11	7	石核	玉髓 (橙褐色)	完形	2.8	1.3	1.3	6.4	遺跡近傍河川で採集可能な円礫素材
	2003 or 2004	C-1	5	11	8	二次加工のある剥片	暗褐色堆積岩 (緻密)	左部欠	2.6	3.0	0.5	4.0	折れ面に二次加工
	2004	C-1	5?	11	1	尖頭器 (両面加工)	流紋岩? (ガラス質)	上部欠, 下部ガジリ	4.1	1.7	0.5	3.5	押圧使用。長軸に対して直角に並列した剥離痕, 非常に珪質な火成岩
	2004	C-1	5?	11	2	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.6	1.9	0.8	6.1	小形木葉形, 表面やや摩耗
	2004	C-1	5?	11	3	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	3.7	2.0	0.9	5.4	製作時に発生した折れか? やや不整形
	2003 or 2004	C-2	2	1	2	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部下部欠	2.7	4.6	0.6	8.9	素材剥片を縦位に使用, 表面やや摩耗
	2003 or 2004	C-2	4	5	25	微細剥離痕のある剥片	頁岩 (灰白色)	上部欠	4.9	2.0	0.6	5.6	素材剥片を縦位に使用, 取り上げ時の遺物No.31から25に変更されている
	2003	C-2	4	7	20	土器片	—	—	—	—	—	18.0	4点在中
	2003	C-2	4	7	21	削器	チャート (暗灰色)	完形	4.0	2.8	1.6	15.8	鋸歯状の刃部
	2003	C-2	4	7	22	細石刃	玉髓(黄灰色)	完形	2.3	0.4	0.1	—	小さく重量計測不可(0.1g未満)
	2003	C-2	5	8	24	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (粗粒)	完形	7.8	3.0	1.2	31.6	表面摩耗, 側面観湾曲
	2003	C-2	5	8	25	土器片	—	—	—	—	—	17.9	
	2003	C-2	5	8	26	石核	頁岩 (黄灰白色)	完形	3.0	2.0	0.9	6.3	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	C-2	5	8	27	石核	碧玉(暗褐色)	完形	2.0	3.1	2.8	19.9	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	C-2	5	8	28	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形(下端欠)	4.7	1.7	0.3	2.9	表面やや摩耗
	2003	C-2	5	8	29	細石刃	灰白色堆積岩 (緻密)	下部欠	1.6	0.6	0.2	0.1	
	2003	C-2	5	9	11	細石刃	頁岩 (黄灰白色)	上下部欠	0.9	0.3	0.1	—	遺跡近傍河川で採集可能な石材。重量計測不可(0.1g未満)
	2003	C-2	5	9	13	細石刃	頁岩 (黄灰白色)	完形	1.5	0.3	0.1	—	遺跡近傍河川で採集可能な石材。重量計測不可(0.1g未満)
	2003	C-2	5	9	14	尖頭器 (両面加工)	碧玉 (黄灰白色)	完形	2.8	1.6	0.6	2.6	不整形。未成品?あるいは技量の低い製作者による? 押圧剥離使用。遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	C-2	5	9	16	土器片	—	—	—	—	—	17.4	
49	2003	C-2	5	9	17	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.6	3.8	1.1	26.3	平面形が楕円形
	2003	C-2	5	9	18	細石刃	頁岩 (緑色)	下部欠	1.7	0.4	0.1	—	重量計測不可(0.1g未満)
	2003	C-2	5	9	19	土器片	—	—	—	—	—	44.7	
	2003	C-2	5	9	35	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	2.8	3.0	1.0	6.2	木葉形
	2003	C-2	5	9	36	石核	頁岩 (黄灰白色)	完形	2.3	4.6	1.8	29.1	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003	C-2	5	9	37	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.0	2.0	0.4	2.6	素材剥片を縦位に使用
	2003	C-2	5	9	40	細石刃	頁岩 (黄灰白色)	下部欠	1.4	0.4	0.1	—	遺跡近傍河川で採集可能な石材。重量計測不可(0.1g未満)
	2004	C-2	5	10	1	土器片	—	—	—	—	—	11.1	
	2004	C-2	5	10	2	土器片	—	—	—	—	—	7.7	
33	2004	C-2	5	10	3	両面加工石器	頁岩 (暗黄褐色)	完形	3.5	2.8	0.9	10.1	小形木葉形尖頭器あるいは両面加工搔器の未成品? 遺跡近傍の河原で採集可能な扁平な円礫が素材。表裏両面に礫面

Table 3-3-6 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-6 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
28	2004	C-2	5	10	4	尖頭器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.3	2.4	0.9	7.4	素材剥片を縦位に使用
55	2004	C-2	5	10	5	搔器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.0	2.9	1.0	11.0	素材剥片を縦位に使用。刃部平面形は内湾。
	2004	C-2	5	10	9	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	4.5	2.7	0.8	11.4	木葉形、No.10と接合(接合状態の長さ:7.8,幅:2.8,厚さ:0.8,重さ:19.3)。
	2004	C-2	5	10	10	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.7	2.8	0.8	7.9	木葉形、No.9と接合(接合状態の長さ:7.8,幅:2.8,厚さ:0.8,重さ:19.3)。
	2004	C-2	5	10	11	尖頭器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形(左端欠,先端ガジリ)	3.9	1.8	0.6	3.9	小形,木葉形
	2004	C-2	5	10	12	削器	流紋岩(灰白色ガラス質)	上下部欠	4.1	3.3	1.0	16.1	珩質な流紋岩? 縦長剥片の両側縁に二次加工
	2004	C-2	5	10	13	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.2	3.0	0.9	14.4	不整形,未成品。素材剥片縦位に使用。表面褐鉄鉱付着
	2004	C-2	5	10	14	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形(裏面熱ハジケ)	3.5	4.4	0.9	11.2	素材剥片(横長)端部に微細剥離痕。裏面の表面熱ハジケ
	2004	C-2	5	10	15	石核	玉髓 (橙褐色)	完形	2.8	3.2	3.5	34.9	遺跡近傍河川で採集可能な円礫素材
	2004	C-2	5	10	16	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (先端基部欠)	4.1	1.6	0.6	3.7	押圧剥離。並行剥離だが斜状ではない。しいて言えば長軸に対して直角。先端から0.4cmの長さの縦溝状剥離痕
	2004	C-2	5	10	19	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.3	1.6	0.9	7.0	大きなヒンジなど発生しており不整形で厚手。細形,未成品あるいは製作技量低い?
	2004	C-2	5	10	21	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.3	5.2	0.6	10.6	ポイントフレーク素材。素材剥片の末端に微細剥離痕
	2004	C-2	5	10	22	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半,右部欠	3.3	2.8	0.7	4.8	木葉形尖頭器の破片
	2003 or 2004	C-2	5	10	26	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	上下部欠	5.8	1.7	0.6	6.7	細形,やや不整形。上部より長さ0.9cmの縦溝状剥離痕発生
	2003 or 2004	C-2	5	10	28	原石	玉髓 (橙褐色)	上部欠	4.4	3.8	1.0	31.8	遺跡近傍河川で採集可能な円礫素材
	2003 or 2004	C-2	5	10	29	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	2.5	4.9	1.0	11.0	素材剥片縦位に使用。尖頭器などの未成品?半両面加工
	2004	C-2	5?	10	8	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.8	1.4	0.4	2.0	小形で細形。押圧剥離使用。
	2003	C-3	3	3	2	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	右半,下部欠	5.1	2.7	0.9	15.1	素材剥片を縦位に使用。側縁に表裏から二次加工
	2003 or 2004	C-3	3	3	3	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (粗粒)	完形	4.7	1.2	0.3	1.6	表面著しく摩耗
27	2003	C-3	3	5	9	尖頭器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.5	1.9	0.5	4.0	1号くぼみ地形プラスト5。素材剥片を縦位に使用
	2003	C-3	3	6	10	土器片	—	—	—	—	—	0.9	2点在中
	2003	C-3	3	6	C.K.2	土器片	—	—	—	—	—	17.2	1号くぼみ地形プラスト3。5点在中
61	2003	C-3	3	不明	3	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.8	4.1	0.8	18.4	1号くぼみ地形プラスト5。表面やや摩耗
18	2003 or 2004	C-3	4	6	8	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.1	1.5	0.4	1.8	1号くぼみ地形プラスト3。小形木葉形,押圧使用
22	2003 or 2004	C-3	4	6	9	尖頭器 (両面加工)	玉髓 (黄橙色)	完形	2.8	1.0	0.3	1.0	1号くぼみ地形プラスト3。小形で細形,押圧使用
	2003	C-3	4	6	13	土器片	—	—	—	—	—	10.6	1号くぼみ地形プラスト3
	2003	C-3	4	6	14	土器片	—	—	—	—	—	6.1	
	2003 or 2004	C-3	4	6	21	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	2.9	2.5	0.8	6.4	1号くぼみ地形プラスト3。小形円形,表面摩耗
44	2004	C-3	4	6	22	削片	暗灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	6.3	0.6	0.7	3.0	セカンドスボール。湧別技法
	2003 or 2004	C-3	4	7	14	細石刃	暗灰色堆積岩 (緻密)	上下部欠	1.7	0.6	0.2	0.1	1号くぼみ地形プラスト4
	2003 or 2004	C-3	4	7	15	細石刃	珩質頁岩 (灰褐色)	上半欠	1.1	0.4	0.2	—	1号くぼみ地形プラスト4。重量計測不可(0.1g未満)。
	2004	C-3	4	7	23	微細剥離痕のある剥片	珩質頁岩 (緑灰色)	上半欠	2.3	3.0	0.5	3.1	素材剥片を縦位に使用。良質な石材
	2004	C-3	4	7	24	二次加工のある剥片	緑灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	2.1	2.8	0.8	4.0	素材剥片を縦位に使用

Table 3-3-7 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-7 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Плост	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
63	2004	C-3	4	7	25	石核	頁岩 (黄灰白色)	完形	1.7	3.7	1.9	10.0	遺跡近傍河川で採集可能な石材。写真図版用写真なし。
	2004	C-3	4	7	26	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	右半欠	4.0	2.1	0.6	4.8	折れ面に再加工。未成品
	2003 or 2004	C-3	4	7	41	尖頭器 (両面加工)	チャート (暗灰色良質)	上部下部欠	2.9	1.5	0.3	1.5	良質な石材。押圧剥離による調整。薄手で調整丁寧で形態も整っている。押圧剥離は長軸に対し直角に並列
	2004	C-3	5	10	6	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	4.1	1.7	0.6	4.6	細形、基部三角形。押圧剥離使用
	2003	C-3	5	8(1号くぼみ地形5)	2	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (先端部欠)	2.7	1.5	0.5	1.8	1号くぼみ地形プラスチック5, O. П. N4. 非常に小形の尖頭器。木葉形。押圧剥離。素材剥片を横位に使用
	2003	C-3	5	8(1号くぼみ地形5)	4	土器片	—	—	—	—	—	4.2	1号くぼみ地形プラスチック5。炭化物外面に付着
	2003 or 2004	C-3	不明	7	11	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (黄灰白色)	完形	3.1	1.4	0.5	1.6	小形木葉形。1号くぼみ地形プラスチック4
	2003	C-4	3	3	4	尖頭器 (周辺加工)	頁岩 (暗緑灰色)	下半欠	2.3	1.9	0.5	1.9	素材剥片を縦位に使用
	2003 or 2004	C-4	3	3	6	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (粗粒)	完形	2.9	4.8	1.3	16.5	素材剥片を縦位に使用
	2003 or 2004	C-4	4	4	8	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.4	1.6	0.5	2.3	押圧剥離使用。基部三角形状。有茎尖頭器様の平面形。
	2003 or 2004	C-4	4	4	8	土器片	—	—	—	—	—	10.7	
	2003 or 2004	C-4	4	5	17	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.0	3.6	0.8	10.0	素材剥片を縦位に使用。両側縁に表裏から二次加工。押圧使用と思われる
	2003 or 2004	C-4	4	5	18	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	5.5	3.3	0.6	9.9	ポイントフレイクが素材。両側縁に二次加工
	2003 or 2004	C-4	4	5	19	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	4.0	2.9	1.1	6.7	木葉形
	2003 or 2004	C-4	4	5	20	尖頭器 (両面加工)	無斑晶質安山岩	下部欠	9.1	4.1	1.4	4.6	1号くぼみ地形プラスチック1。木葉形。表面やや摩耗
	2004	C-4	4	6	31	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	ほぼ完形 (上端ガジリ)	4.7	1.6	0.4	3.6	小形で細形、押圧使用。表面摩耗
	2004	C-4	4	7	27	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.7	1.4	0.4	1.8	小形で細形、押圧使用。基部三角形状
	2004	C-4	4	7	28	削器	チャート (暗赤紫色)	上部左部欠	5.8	3.7	0.6	17.1	素材剥片横位に使用？右側縁表裏から二次加工で刃部作出
	2003 or 2004	C-4	4	7	39	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.6	2.4	0.7	6.1	
	2003 or 2004	C-4	4	7	40	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	3.5	2.3	0.2	1.7	素材剥片を縦位に使用。表面やや摩耗
	2003 or 2004	C-4	4	7	42	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	右半欠	6.2	3.5	1.3	18.2	
	2003 or 2004	C-4	4	7	43	尖頭器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	2.5	3.1	0.7	4.8	
	2004	C-5	4	6	21	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	右上半欠	6.6	3.7	1.4	28.3	折れ面に再加工。不整形
64	2004	C-5	4	7	30	石核	碧玉 (黄橙色)	完形	3.3	0.9	1.8	7.4	遺跡近傍河川で採集可能な石材。写真図版用写真なし。
	2004	C-5	4	7	31	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部下半欠	2.5	4.2	0.7	8.3	素材剥片を横位に使用
	2004	C-5	4	7	32	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.5	2.0	0.5	5.0	素材剥片を縦位に使用
	2003 or 2004	C-6	4	5	11	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下半欠	8.8	4.9	2.7	104.0	木葉形
	2003 or 2004	C-6	4	5	13	尖頭器 (両面加工、ポイントフレイク)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	4.2	6.0	1.7	25.0	両面加工尖頭器の調整時に発生した事故剥離による。フートゥルパッセを生じ、剥片末端に両面加工石器の縁部を取り込んでしまっている
	2003 or 2004	C-6	4	5	27	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.7	3.7	1.1	20.4	不整形。未成品もしくは技量低い？
	2003	D/C-1	4	5	C.K.1	土器片	—	—	—	—	—	13.5	1号くぼみ地形。フルイ出土か？5点在中
	2003	D-1	4	4	1	細石刃	玉髓 (暗褐色)	完形	2.7	0.6	0.2	0.3	珪質な石材

Table 3-3-8 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-8 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003 or 2004	D-1	4	4	11	両面加工石器	凝灰岩	下半欠	5.6	6.0	2.8	110.2	石斧などの欠損品の可能性も
	2003 or 2004	D-1	4	5	1	二次加工のある礫	頁岩 (黄灰白色)	完形	4.9	1.9	0.7	8.0	1号くぼみ地形プラスト1. 遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003 or 2004	D-1	4	5	2	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	7.6	3.9	2.7	86.2	1号くぼみ地形プラスト1. 不整形. 未成品?
30	2003 or 2004	D-1	4	5	3	両面加工石器	無斑晶質安山岩	下部欠	11.0	5.2	2.1	132.3	大形. 尖頭器や石斧などの未成品? 実測図作成時には遺物 No.5だった.
	2003 or 2004	D-1	4	5	3	土器片	—	—	—	—	—	5.5	1号くぼみ地形プラスト1
	2003 or 2004	D-1	4	5	4	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.0	5.2	1.2	22.5	1号くぼみ地形プラスト1
	2003 or 2004	D-1	4	5	5	石核	玉髓 (橙褐色)	完形	2.2	3.2	2.7	17.4	1号くぼみ地形プラスト1. 遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003 or 2004	D-1	4	5	6	石核	頁岩 (黄灰白色)	完形	2.7	4.7	2.2	22.0	1号くぼみ地形プラスト1. 遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2004	D-1	4	7	34	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上下部欠	3.3	1.4	0.5	2.1	小形細形. 押圧剥離使用. 剥離痕は長軸に直角に並ぶ
	2003	D-1	黒色土中	「2号遺構」の2	5	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.1	2.1	0.6	3.6	「2号遺構」プラスト2. 細身
	2003	D-1	黒色土中	7	7	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	4.7	3.2	0.7	11.9	「2号遺構」プラスト2
56	2003 or 2004	D-1	不明	不明	1	搔器 (周辺加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.5	3.6	0.9	15.6	「2号遺構」プラスト2. 素材の扁平な凹円縁の周縁に二次加工を施して搔器を製作. 表裏に大きく礫面を残す. 遺跡近傍河川で採集可能な石材
6	2003 or 2004	D-1	黒色土中	「2号遺構」の2	2	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	10.0	3.7	1.2	39.7	「2号遺構」プラスト2. 木葉形. 大形で丁寧な作り. 稜線シャープ
	2003 or 2004	D-1	不明	不明	3	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下半欠	3.2	2.8	0.6	5.1	「2号遺構」プラスト2. 木葉形. 表面摩耗
	2003 or 2004	D-1	不明	不明	4	土器片	—	—	—	—	—	6.8	1号くぼみ地形プラスト2
	2003 or 2004	D-1	不明	不明	C.K.N2	土器片	—	—	—	—	—	46.5	1号くぼみ地形. 8点在中
	2004	D-2	4	6	35	尖頭器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (粗粒)	ほぼ完形(右端欠)	9.0	4.1	1.0	36.4	素材剥片を横位に使用. 未成品
	2004	D-2	4	6	36	石核	チャート (暗灰色)	完形	5.1	4.3	4.3	128.0	
	2004	D-2	4	6	37	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.4	2.4	0.8	8.4	涙滴形. 小形
	2003 or 2004	D-2	4	6	42	土器片	—	—	—	—	—	10.0	
24	2003 or 2004	D-2	4	6	49	有茎尖頭器	流紋岩?	上部下部欠	2.7	2.6	0.6	4.2	下部折れ面から側縁に長さ0.3cm程度の小さい彫器状剥離痕発生. 押圧使用か?
	2003 or 2004	D-2	4	6	50	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	右半欠	4.9	1.7	1.2	7.4	両面加工の石器の破片. あるいはスポールの可能性あり(ただし. スポールには腹面の形がねじれている)
	2003 or 2004	D-2	4	6	51	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上下部欠	2.6	1.5	1.4	1.5	
	2004	D-2	4	7	35	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半. 下端欠	3.8	2.8	1.0	10.6	木葉形. ステップやヒンジ多発. やや不整形
	2004	D-2	4	8	40	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形(先端部ガジリ)	6.5	1.9	0.8	10.4	
	2003 or 2004	D-2	4	8	41	搔器 (両面加工)	碧玉(黄褐色 緻密. 黄玉)	完形	4.8	2.1	1.0	7.7	遺跡近傍河川で採集可能な円礫素材と考えられる. 黄玉
	2004	D-2	4	8	42	細石刃	碧玉 (暗褐色柱状)	完形	3.0	0.9	0.3	0.5	遺跡近傍河川で採集可能な円礫素材
	2004	D-2	5	10	7	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.5	4.4	1.9	51.0	分厚い素材剥片を縦位に使用. 鋸歯状
	2003	D-2	黒色土中	「2号遺構」の2	6	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	上部下半欠	2.3	3.0	0.7	4.8	「2号遺構」プラスト2. 木葉形
39	2003 or 2004	D-3	3	6	7	細石刃	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (未端欠)	2.4	0.7	0.2	0.2	1号くぼみ地形プラスト3
	2003 or 2004	D-3	4	4	8	土器片	—	—	—	—	—	5.8	1号くぼみ地形出土. 内面炭化物付着

Table 3-3-9 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-9 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласс	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003 or 2004	D-3	4	6	6	両面加工石器	碧玉 (暗黄)	完形	4.4	2.8	1.8	18.2	1号くぼみ地形プラスチック3. 遺跡近傍河川で採集可能な石材. 不整形
	2003 or 2004	D-3	4	7	4	土器片	—	—	—	—	—	4.0	1号くぼみ地形プラスチック4. 2点在中
	2003 or 2004	D-3	不明	7	14	土器片	—	—	—	—	—	0.9	
	2003 or 2004	D-4	3	3	5	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	上半欠	2.6	3.4	0.3	2.9	素材剥片を縦位に使用. 素材剥片末端に腹面側から二次加工. 表面摩耗
	2003 or 2004	D-4	4	5	21	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.8	2.7	0.9	16.5	素材剥片 (縦長剥片) を縦位に使用. 素材剥片末端ヒンジ. 基部は未加工. 側面観湾曲, 細身. 緻密で良質な石材
	2003 or 2004	D-4	4	6	24	土器片	—	—	—	—	—	18.1	1号くぼみ地形. 3点在中
	2004	D-4	4	6	32	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	3.8	3.3	0.8	11.6	
	2004	D-4	4	6	33	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	4.2	3.8	0.7	14.9	素材剥片縦位に使用. 半両面加工. 搔器欠損品の可能性
29	2003	D-4	4	7	8	両面加工石器	ホルンフェルス (暗灰色)	完形	11.2	5.0	2.9	181.7	1号くぼみ地形プラスチック4. 厚手で不整形な平面形. 尖頭器などの未成品?
	2003	D-4	4	7	9	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下半欠	2.7	1.7	0.5	2.1	1号くぼみ地形プラスチック4. 細形
	2003	D-4	4	7	10	土器片	—	—	—	—	—	15.9	1号くぼみ地形
	2004	D-4	4	7	29	削器	チャート (暗灰色)	左半欠	4.7	2.5	1.2	13.0	押圧剥離使用. 素材剥片を縦位に使用
2	2003 or 2004	D-5	4	5	6	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	11.6	2.9	1.5	45.1	やや厚手. 甲高
	2003 or 2004	D-5	4	5	7	縦長剥片	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	9.0	3.0	0.6	19.1	わずかに二次加工あり
	2003 or 2004	D-5	4	5	8	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上下半	2.4	4.0	1.2	7.9	恐らく木葉形の断片
	2004	D-5	4	6	23	石核	頁岩 (黄灰白色)	完形	4.1	2.9	1.9	19.4	遺跡近傍河川で採集可能な石材
65	2004	D-5	4	6	24	二次加工のある礫	玉髓 (暗赤褐色)	完形	1.9	3.5	1.7	12.9	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2004	D-5	4	6	25	石核	頁岩 (黄灰白色)	完形	5.5	1.4	3.3	28.9	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2004	D-5	4	6	26	尖頭器 (半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (上部欠)	5.2	2.3	0.5	6.4	木葉形. 素材剥片を横位に使用
	2004	D-5	4	6	27	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	5.0	4.5	1.0	24.1	
	2003 or 2004	D-5	4	6	44	土器片	—	—	—	—	—	10.2	
1	2004	D-5	4	7	37	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (粗粒)	完形	12.4	4.8	1.1	67.3	丁寧成形されている. 半月形の平面形
62	2003 or 2004	D-6	4	4	6	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.2	3.8	1.3	24.2	素材剥片の周縁に二次加工. 不定形. 実測図作成時には No.7 だった.
	2003 or 2004	D-6	4	5	9	搔器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	3.2	3.2	0.9	8.4	素材剥片を縦位に使用
	2003 or 2004	D-6	4	5	10	尖頭器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (上下端欠)	5.1	1.9	0.3	4.3	素材剥片を縦位に使用. 表面やや摩耗
	2003 or 2004	E-1	3	3	8	土器片	—	—	—	—	—	10.7	2点在中
5	2003 or 2004	E-1	4	5	4	尖頭器 (両面加工)	チャートもしくは珩質頁岩 (暗灰色)	完形	7.8	2.2	0.6	12.6	細形. 押圧剥離使用と思われる. 非常に珩質で良質な石材. 実測図には遺物 No.10 と記載されていた.
	2004	E-1	4	6	39	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	4.7	1.9	0.6	4.8	小形で細形. 不整形
	2004	E-1	4	6	40	土器片	—	—	—	—	—	14.2	
25	2003	E-2	3	2	1	石織	珩質頁岩 (暗灰色)	完形	2.5	1.7	0.4	1.7	素材剥片を縦位に使用. 涙滴形の平面形. 表面は器体表面を覆うように. 器体中央まで入り込む二次加工が施されているが. 裏面は周辺だけに二次加工

Table 3-3-10 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-10 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003 or 2004	E-2	3	5	1	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.1	3.4	1.7	26.7	1号くぼみ地形プラスト2. 不定形
	2003 or 2004	E-2	3	5	2	尖頭器 (両面加工, ポイントフレック)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	4.4	6.3	1.1	21.7	1号くぼみ地形プラスト2. 両面加工石器製作時の事故剥離で発生. ウートゥルパッセの発生により, 末端に両面加工石器の縁を大きく取り込んでしまっている
	2003 or 2004	E-2	3	5	3	石核	頁岩 (暗黄色)	完形	3.4	3.8	1.9	22.4	1号くぼみ地形プラスト2. 遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003 or 2004	E-2	3	5	4	微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩 (灰色)	右部欠	2.0	3.3	0.6	3.8	1号くぼみ地形プラスト2. 素材剥片末端に連続した微細な剥離痕, 非常に珪質で良質な石材
	2003 or 2004	E-2	3	5	5	石核	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	4.8	6.8	1.1	45.4	1号くぼみ地形プラスト2
	2003 or 2004	E-2	3	6	2	原石	玉髓 (橙色)	完形	3.7	2.2	2.6	28.9	敲打痕あり. 遺跡近傍河川で採集可能な円盤素材
3	2003	E-2	3	7	47	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	7.7	4.6	1.8	57.8	1号くぼみ地形. 取り上げ時は遺物No.2だった. 半月形の平面形
	2003 or 2004	E-2	4	4	10	尖頭器 (両面加工)	無斑晶質安山岩	上部下半欠	1.5	2.4	0.5	2.5	
	2003	E-2	4	6	15	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	5.3	3.7	1.2	19.9	1号くぼみ地形プラスト3. 木葉形
59	2003 or 2004	E-2	4	6	34	搔器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	6.0	3.6	1.0	22.2	素材剥片を縦位に使用
	2004	E-2	4	6	38	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	5.7	5.3	2.5	79.6	大形の両面加工石器の破損品
	2003 or 2004	E-2	4	7	12	土器片	—	—	—	—	—	5.9	
	2004	E-2	4	7	36	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.0	1.8	0.7	4.1	剥片素材で, 素材剥片を縦位に使用. 押圧剥離を使用. 小形木葉形
	2003	E-3	3	4	3	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (黄橙色)	下半欠	2.3	1.9	0.4	1.1	小形木葉形. 押圧使用
31	2003	E-3	3	5	7	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	7.0	5.1	2.7	2.6	1号くぼみ地形プラスト5. 両面加工石器. 上部と下半を折れにより失っているため尖頭部や搔器としての刃部を有していた可能性もある. 両面加工搔器と両面加工尖頭器の両方の可能性がある
	2003	E-3	3	5	8	尖頭器 (半両面加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.2	2.4	0.5	3.5	1号くぼみ地形プラスト5. 素材剥片を縦位に使用
	2003	E-3	3	6	1	二次加工のある礫	暗灰色堆積岩 (粗粒)	完形	3.1	3.1	1.5	10.7	
	2003	E-3	3	6	2	土器片	—	—	—	—	—	20.8	1号くぼみ地形3
	2003	E-3	3	6	17	土器片	—	—	—	—	—	7.1	1号くぼみ地形3
	2003 or 2004	E-3	3	6	19	石核	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.1	3.3	2.8	43.5	ブロック状の形態
	2003 or 2004	E-3	3	6	C.K.N1	土器片	—	—	—	—	—	13.4	1号くぼみ地形3
	2003 or 2004	E-3	3	6	C.K.N1	土器片	—	—	—	—	—	13.4	1号くぼみ地形3
	2003 or 2004	E-3	4	4	5	尖頭器 (両面加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.2	2.1	0.3	2.2	小形木葉形
	2003 or 2004	E-3	4	4	6	土器片	—	—	—	—	—	8.6	1号くぼみ地形出土
32	2003 or 2004	E-3	4	5	11	両面加工石器	無斑晶質安山岩	ほぼ完形 (上下端欠)	4.1	3.0	1.0	14.3	1号くぼみ地形プラスト2. 楕円形の平面形. 折れ面に再加工
	2003 or 2004	E-3	不明	6	20	土器片	—	—	—	—	—	4.4	1号くぼみ地形プラスト3
	2003	E-4	1	1	1	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下半欠	3.5	3.1	1.0	9.5	木葉形, 表面摩耗
	2003 or 2004	E-4	3	4	9	細石刃	碧玉 (暗褐色)	下部欠	1.1	0.4	0.2	—	1号くぼみ地形出土. 重量計測不可 (0.1g未満).
	2003 or 2004	E-4	3	4	10	細石刃	碧玉 (黄褐色)	下部欠	1.0	0.7	0.2	0.1	1号くぼみ地形出土

Table 3-3-11 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-11 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003 or 2004	E-4	3	4	11	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.0	1.5	0.5	2.5	基部三角形。押圧剥離による剥離は、長軸に対して直角に並ぶ傾向。1号くぼみ地形出土
	2003 or 2004	E-4	4	4	12	土器片	—	—	—	—	—	10.4	4点在中
	2003 or 2004	E-4	4	5	12	土器片	—	—	—	—	—	3.9	2点在中
54	2003 or 2004	E-4	4	5	16	搔器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.7	3.5	1.7	27.7	素材剥片を縦位に使用。平面形は三角形。刃角約90°で非常に鈍角。縦方向に寸詰まりな形態であり、リダクションなどの結果である可能性あり。
17	2003 or 2004	E-4	4	6	5	尖頭器 (両面加工)	頁岩 (灰白色)	完形	3.6	1.7	0.5	2.3	1号くぼみ地形プラスト3。小形で細形、押圧使用。基部三角形、平面形やや不整形
47	2004	E-4・5	4	6	8	局部磨製石斧	緑灰色堆積岩 (緻密)	完形	10.3	3.0	1.3	56.7	片刃、刃部正面観は直線的。刃部に刃こぼれ状の小剥離痕。研磨痕切る剥離多数(裏面側から施されたもの多い。全面研磨後にもさらに剥離施されたと考えられる。リダクションなどの結果によって生じた可能性もある)
	2003 or 2004	E-5	4	5	22	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (下端欠)	3.8	2.4	0.7	6.9	楕円形の平面形。素材剥片を横位に使用
	2003 or 2004	E-5	4	5	23	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (下端欠)	6.2	3.7	1.7	32.9	素材剥片を縦位に使用
26	2003 or 2004	E-5	4	6	41	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (粗粒)	完形	9.5	4.3	1.3	50.3	表面摩耗、木葉形。素材剥片を縦位に使用。実測図作成時には遺物No.34になっていた
	2003 or 2004	E-5	4	6	48	微細剥離痕のある剥片	頁岩 (暗紫褐色)	下部欠、表面ハジケ	2.9	2.3	0.8	5.1	遺跡近傍河川で採集可能な石材。表面のハジケは被熱のためか？
	2003 or 2004	E-6	4	4	5	土器片	—	—	—	—	—	18.0	
	2003 or 2004	E-6	4	5	14	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.4	1.6	0.6	3.4	小形で細形、やや不整形
	2003 or 2004	E-6	4	5	15	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	7.0	4.4	1.4	28.4	コーン径0.4cm。素材剥片を縦位に使用。末端に向かって収斂する尖頭状の平面形。素材剥片両側縁に二次加工
	2004	E-6	4	6	29	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部下部欠	3.5	2.5	0.7	7.4	
	2004	E-6	4	6	30	縦長剥片	頁岩 (黄褐色)	下部欠	4.3	1.0	0.6	3.8	二次加工なし。スポールの可能性も
	2003 or 2004	E-6	4	6	45	尖頭器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下半欠	3.0	2.5	0.5	4.3	素材剥片縦位に使用
	2003 or 2004	E-6	4	6	47	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部下部欠	2.6	1.5	0.6	2.5	下部の折れ面から長さ0.6cmの縦溝状剥離痕と、側縁に長さ1cmの彫器状剥離痕発生。小形で細形、押圧使用
	2004	E-6	4	7	33	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.7	2.5	1.1	10.8	木葉形、やや分厚く、不整形
	2004	F-1	4	6	20	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	6.3	5.4	1.4	43.9	コーン径0.3cm
37	2003	F-2	3	4	2	細石刃核	碧玉 (黄灰白色)	完形	4.1	1.6	1.3	10.6	1号くぼみ地形出土。遺跡近傍河川で採集可能な石材
57	2004	F-2	4	4	5	搔器 (端部加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	6.4	2.9	0.6	15.7	縦型搔器、剥片を縦位に使用。素材剥片端部に二次加工。実測図作成時には遺物No.5だった。
	2003	F-2	4	6	18	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	5.3	2.0	0.5	6.0	1号くぼみ地形プラスト3。小形で細形、表面やや摩耗
67	2003 or 2004	F-3	3	5	6	敲石	多孔質安山岩	完形	10.3	3.7	2.8	163.7	1号くぼみ地形プラスト2。棒状の形態。両端に敲打痕(顕著ではない)
9	2003	F-3	3	5	6	尖頭器 (両面加工)	凝灰岩？(灰白色やや粗粒)	完形	6.6	2.4	0.9	12.0	1号くぼみ地形プラスト5。左右非対称の平面形。基部三角形、細身。灰白色でやや粗粒な石材

Table 3-3-12 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-12 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003 or 2004	F-3	3	5	10	搔器 (両面加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.0	4.4	1.4	40.4	1号くぼみ地形プラスト2. 不整形
	2003	F-3	3	6	3	土器片	—	—	—	—	—	14.1	1号くぼみ地形プラスト3
34	2003 or 2004	F-3	3	6	4	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	4.0	3.7	1.4	20.5	1号くぼみ地形プラスト3. 表面やや摩耗
	2003	F-3	4	7	3	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	2.9	1.6	0.3	1.4	上部より発生した彫器状剥離痕あり. 小形木葉形, 押圧剥離使用
51	2003	F-3	4	7	5	搔器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	7.0	5.2	1.0	25.9	素材剥片を縦位に使用. 平面形が三角形で大形. 1号くぼみ地形プラスト4
	2003	F-3	4	7	6	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.8	2.9	0.9	6.9	木葉形. 1号くぼみ地形プラスト4
	2003 or 2004	F-3	不明	6	22	両面加工石器	頁岩 (灰色)	完形	5.2	3.6	1.6	32.0	1号くぼみ地形プラスト3, 不整形
	2003 or 2004	F-3	不明	6	23	石核	玉髓 (暗赤褐色)	完形	2.3	3.9	2.6	24.9	遺跡近傍河川で採集可能な石材. 1号くぼみ地形プラスト3
	2003 or 2004	F-4	3	3	7	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下半欠	2.5	2.8	0.8	5.3	素材剥片を縦位に使用. 表面やや摩耗
21	2003	F-4	3	4	4	尖頭器 (両面加工)	灰白色堆積岩 (緻密)	完形	2.9	1.3	0.5	1.0	小形木葉形, 押圧剥離使用
	2003	F-4	3	6	16	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	ほぼ完形 (上端欠)	3.3	1.6	0.5	2.1	1号くぼみ地形プラスト3. 小形で細形, 押圧使用
	2003 or 2004	F-4	4	6	25	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.5	5.2	1.4	17.9	コーン径0.7cm, 1号くぼみ地形
	2003	F-4	4	6	C.K.3	土器片	—	—	—	—	—	44.9	1号くぼみ地形プラスト3
	2003	F-4	4	7	7	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.7	2.4	0.7	12.5	細身, 素材剥片を縦位に使用. 1号くぼみ地形プラスト4
	2003 or 2004	F-4	4	7	13	土器片	—	—	—	—	—	2.1	1号くぼみ地形プラスト4
	2003	F-5	2	2	3	搔器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.1	3.1	1.3	22.9	素材剥片を縦位に使用. 表面やや摩耗. 取り上げ台帳と遺物ラベルで遺物のNo.異なる (遺物ラベルの番号を採用した)
53	2004	F-5	4	5	24	搔器 (片面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.1	3.6	1.5	22.0	平面形は三角形. 鈍角な刃部. 素材剥片を横位に使用. 取り上げ時のNo.30からNo.24に遺物番号変更
	2003 or 2004	F-5	4	5	28	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	3.8	2.0	0.5	2.9	素材剥片を斜位に使用. 細形
	2003 or 2004	F-5	4	5	29	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	下部欠	4.0	2.3	1.0	8.5	不整形. 未成品もしくはは技量低い?
	2003	F-5	4	6	11	尖頭器 (両面加工)	チャート (暗赤褐色)	上半欠	3.7	2.8	0.6	6.6	1号くぼみ地形プラスト3. 木葉形, 素材剥片を横位に使用. 不整形, 未成品あるいは技量低い. あるいは石材の質が低いことによる影響か?
	2003 or 2004	F-6	4	5	5	二次加工のある剥片	チャート (暗灰色)	上部欠	3.0	3.4	1.1	9.7	
4	2004	F-6	4	6	28	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	10.3	2.9	0.8	21.7	細身の木葉形, 押圧使用. 丁寧な整形
48	2004	G-2	3	4	4	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	8.3	4.3	1.0	45.9	涙滴形. 素材剥片を横位に使用
15	2003 or 2004	G-3	3	3	7	尖頭器 (両面加工)	珩質頁岩 (灰白色)	完形	4.3	1.5	0.7	3.7	小形で細形, 押圧使用
	2004	G-3	3	4	CK-1	土器片	—	—	—	—	—	22.4	27点在中
	2004	G-3	3	4	CK-3	土器片	—	—	—	—	—	32.9	14点在中
	2004	G-3	4	5	1	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	4.6	3.6	1.3	17.2	木葉形, 素材剥片を横位に使用
58	2004	G-3	4	5	2	搔器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.7	2.6	0.5	10.4	ポイントフレークが素材. 表面やや摩耗
	2004	G-3	4	5	12	搔器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	3.3	3.7	0.8	10.0	ポイントフレーク素材
	2003 or 2004	G-3	4	5	18	石核	頁岩 (赤灰褐色)	完形	5.5	3.9	4.6	117.8	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2003 or 2004	G-3	4	5	20	微細剥離痕のある剥片	碧玉 (暗赤褐色)	下部欠	2.5	2.4	0.4	2.3	遺跡近傍河川で採集可能な石材
	2004	G-4	3	4	5	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形形	7.6	5.0	1.1	43.6	ポイントフレーク

Table 3-3-13 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-13 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Плоск	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
46	2004	G-4	3	4	6	舟底形石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	上下部欠	4.4	1.5	1.7	12.9	甲板面から両側面に加工
	2003 or 2004	G-4	3	4	9	土器片	—	—	—	—	—	10.6	
	2004	G-4	4	5	3	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	1.9	3.0	0.7	3.8	表面摩耗
	2004	G-4	4	5	16	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.1	4.4	1.3	25.8	台形状の平面形．鈍角な刃部
43	2004	G-4	4	6	1	削片	チャート (青灰色の)	上部欠	3.8	1.0	0.9	3.7	ファーストスボール．両面加工の母型から片剥離(湧別技法)．珪質で良質な石材
	2004	G-4	4	6	6	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	7.1	2.8	1.1	19.3	木葉形，下半部やや不整形
	2003 or 2004	G-4	4	6	13	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	1.8	2.5	0.2	1.0	
50	2003 or 2004	G-4	不明	3	6	搔器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	ほぼ完形(側縁小規模な折れ)	5.8	2.8	0.9	14.7	涙滴形，表面やや摩耗
	2004	G-5	3	4	CK-4	土器片	—	—	—	—	—	16.1	9点在中
	2003 or 2004	G-5	4	4	2	土器片	—	—	—	—	—	6.7	4点在中
	2004	G-5	4	5	4	搔器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	3.9	4.4	1.1	23.8	ラウンドスクレイパー
	2004	G-5	4	5	14	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	3.5	2.3	0.6	5.0	細身
	2004	G-5	4	5	15	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上下部欠	3.2	1.5	0.7	3.1	小形で細形，押圧使用？基部三角形状
	2004	G-5	4	5	17	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	2.0	2.7	0.6	3.0	薄手，木葉形
	2003 or 2004	G-5	4	5	25	尖頭器 (両面加工)	碧玉 (黄褐色)	下半欠 (熱ハジケ)	4.8	4.3	1.0	15.5	
20	2004	G-5	4	6	2	尖頭器 (両面加工)	珪質頁岩 (灰白色)	完形	3.2	1.1	0.4	1.1	赤色砂質土(礫含む)出土
	2004	G-5	4	6	12	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.0	1.5	0.6	2.6	小形で細形，押圧使用
	2004	G-5・6	3	4	CK-2	土器片	—	—	—	—	—	15.5	園木田氏付着炭化物年代測定試料．5点在中
	2003 or 2004	H-2	4	5	23	土器片	—	—	—	—	—	4.3	
	2004	H-2	4	6	11	削片	頁岩 (緑色)	上部欠	3.8	0.7	0.5	1.0	ファーストスボール，両面加工の母型から剥離，湧別技法．珪質で良質な石材
	2003 or 2004	H-2	4	6	18	土器片	—	—	—	—	—	14.1	
10	2003	H-3	3	3	3	尖頭器 (両面加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.3	2.0	0.7	6.1	細身，ヒンジの発生などやや不整形
	2003	H-3	3	3	4	搔器(半両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.8	4.2	1.3	36.1	平面形三角形状，素材剥片を縦位に使用．素材剥片腹面を大きく残す
	2003 or 2004	H-3	4	5	22	土器片	—	—	—	—	—	4.6	4点在中
	2004	H-3	4	6	3	敲石	玉髓 (赤褐色)	完形	5.5	4.7	3.4	113.5	敲打痕顕著
	2004	H-3	4	6	4	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	4.5	1.8	0.5	3.5	押圧使用
	2003 or 2004	H-3	4	6	19	土器片	—	—	—	—	—	12.4	
	2004	H-4	3	4	7	二次加工のある剥片	無斑晶質安山岩	上半欠	2.4	6.0	0.8	10.0	素材剥片末端に二次加工
	2003 or 2004	H-4	4	4	8	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	6.5	4.2	1.3	28.3	
	2004	H-4	4	5	13	尖頭器 (周辺加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	下半欠	3.2	2.9	0.5	4.8	素材剥片を横位に使用．表面やや摩耗．木葉形
	2003 or 2004	H-4	4	5	19	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部下部欠	3.8	2.9	0.3	5.7	縦長剥片，表面やや摩耗
	2004	H-4	4	6	10	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	下半欠	4.3	2.3	0.9	5.7	細身
	2003 or 2004	H-4	4	6	14	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	2.3	2.8	0.5	2.8	小形尖頭器の未成品？
	2003 or 2004	H-4	4	6	15	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	3.6	3.0	1.4	14.7	素材剥片を縦位に使用
	2003	H-5	2	2	1	尖頭器 (両面加工)	無斑晶質安山岩	完形	5.1	2.4	1.1	17.4	木葉形

Table 3-3-14 (続き) ノヴォトロイツコエ 10 遺跡出土遺物属性表

Table 3-3-14 (continued) Artifact attributes from the Novotroitskoe 10 site

Figure No.	year	Grid	Layer	Пласт	ID	Type of artifact	Raw material type	Breakage	Length (cm)	Width (cm)	Thickness (cm)	Weight (g)	Memo
図版 No.	調査年	出土区	層位	人工層位	遺物 No.	器種	石材	欠損	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考
	2003	H-5	3	3	5	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (やや粗粒)	完形	6.7	2.1	1.3	14.3	
	2003 or 2004	H-5	4	4	1	土器片	—	—	—	—	—	16.3	
	2004	H-5	4	6	7	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	4.6	3.8	1.7	24.6	楕円形
	2003 or 2004	H-5	4	6	16	微細剥離痕のある剥片	頁岩 (灰白色)	下半欠	2.0	3.4	0.3	1.8	ポイントフレーク
	2003 or 2004	H-6	4	4	3	土器片	—	—	—	—	—	23.6	
	2004	H-6	4	5	5	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	9.2	5.0	2.0	77.0	不整形。突起状の箇所は節理によって生じている
	2003 or 2004	H-6	4	5	6	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	上部欠	6.3	4.1	1.8	41.8	素材剥片を縦位に使用、両側縁に鈍角な二次加工
60	2004	H-6	4	5	8	削器	暗灰色堆積岩 (緻密)	右下部欠	6.0	5.6	0.8	19.2	ポイントフレーク
	2004	H-6	4	5	9	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	左下部欠	4.5	2.5	0.8	6.5	表面に摩耗光沢
	2003 or 2004	I-2	4	4	12	土器片	—	—	—	—	—	4.1	
	2004	I-2	4	5	7	微細剥離痕のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	右下部欠	5.9	4.1	1.1	22.3	コーン径0.6cm
	2004	I-2	4	5	10	二次加工のある礫	頁岩 (黄灰白色)	完形	4.6	3.6	1.0	18.9	細石刃核の母型の可能性も
	2003 or 2004	I-2	4	5	24	土器片	—	—	—	—	—	9.3	4点在中
	2004	I-2	4	6	8	尖頭器 (両面加工)	暗灰色堆積岩 (緻密)	上半欠	4.2	2.5	0.9	11.2	細身、基部のみ
	2004	I-2	4	6	9	土器片	—	—	—	—	—	13.6	
	2003 or 2004	I-2	4	6	17	土器片	—	—	—	—	—	20.8	2点在中
	2003 or 2004	I-3	3	4	11	土器片	—	—	—	—	—	6.3	2点在中
40	2004	I-3	4	5	11	削片	珩質頁岩 (灰白色)	完形	8.5	1.2	1.8	13.7	ファーストスボール。非常に良質な石材。両面加工の母型より剥離されている(湧別技法)
	2003	I-4	3	3	1	両面加工石器	暗灰色堆積岩 (緻密)	完形	5.1	4.2	1.2	23.4	不定形、未成品
	2003 or 2004	I-4	4	5	21	尖頭器 (両面加工)	緑灰色堆積岩 (緻密)	上下部欠	3.1	1.7	0.5	2.6	表面やや摩耗、細形。押圧剥離使用
	2004	I-4	4	6	5	土器片	—	—	—	—	—	17.7	
	2003	I-5	3	3	2	二次加工のある剥片	暗灰色堆積岩 (緻密)	打面欠、下部欠	7.4	3.8	1.4	31.4	素材剥片を縦位に使用
	2003 or 2004	I-6	3	4	10	土器片	—	—	—	—	—	5.4	

Table 3-4-1 採取炭化物一覧表

Table 3-4-1 Charred remains from the Novotroitskoe 10 site

ID	Year	Grid	Layer	Плaкт	Carbon type	Importance	level	Memo
取り上げNo.	調査年	出土区	層位	人工層位	炭化物の種類	重要度	出土レベル 読み値 (m)	備考
Carbon No.2	2003	E-3	3	6	炭化物	-	1.344	1号炉跡
Carbon No.1	2003	F-4	3	6	炭化物	-	1.47	1号炉跡
Fireplace No.2_1	2003	E-2	5	7	炭化物	-	1.268	炭化物サンプル
Fireplace_1	2003	C-3	5	8	炭化物	-	1.385	
Fireplace_2	2003	D-3	5	8	炭化物	-	1.34	
Fireplace No.2_2	2003	E-2	5	7	炭化物	-	1.19	
Carbon No.1	2003	D-1	黒色土中	黒色土中2	炭化物	-	1.118	2号遺構
Carbon No.2	2003	D-1	黒色土中	黒色土中2	炭化物	-	1.239	2号遺構底面より出土
Carbon No.3	2003	D-2	黒色土中	黒色土中2	炭化物	-	1.2	2号遺構底面より出土
1	2004	G-2	3	4	炭化物	A	1.009	
2	2004	H-2	3	4	炭化物	C	1.086	
3	2004	H-2	3	4	炭化物	C	1.100	
4	2004	H-3	3	4	炭化物	C	1.145	
5	2004	G-3	3	4	炭化物	C	1.245	
6	2004	G-3	3	4	炭化物	C	1.269	
7	2004	F-6	3	4	炭化物	C	1.602	
8	2004	G-4	3	4	炭化物	A	1.427	
9	2004	D-2	3	4	炭化物	C	0.845	
10	2004	D-2	3	4	炭化物	C	0.850	
11	2004	I-3	3	4	炭化物	C	1.326	
12	2004	I-3	3	4	炭化物	C	1.363	
13	2004	H-3	3	4	炭化物	B	1.325	
14	2004	H-4	3	4	炭化物	A	1.430	
15	2004	A-2	仮5	不明	レキ層直上黒色層	A	1.025	セクション
16	2004	A-1	3	不明	レキ層直上黒色層	A	0.545	セクション
17	2004	A-1	2	不明	レキ層直上黒色層	A	0.387	セクション
18	2004	A-1	3	不明	レキ層直上黒色層	A	0.242	セクション
19	2004	H-3	3	4	レキ層直上黒色層	A	1.267	
20	2004	H-3	3	4	レキ層直上黒色層	B	1.342	
21	2004	G-4	3	4	レキ層直上黒色層	A	1.445	
22	2004	E-1	3	5	レキ層直上黒色層	C	0.851	
23	2004	G-4	3	4	レキ層直上黒色層	A	1.512	
24	2004	C-2	仮5	不明	レキ層直上黒色層	A	1.152	レキ層直上黒色層中
25	2004	B-1	(5)	不明	レキ層直上黒色層	A	1.101	フレイク集中
26	2004	B-2	仮5	不明	レキ層直上黒色層	A	1.062	レキ層直上黒色層中
27	2004	H-4	4	5	レキ層直上黒色層	B	1.510	
28	2004	H-4	4	5	レキ層直上黒色層	A	1.522	
29	2004	H-4	4	5	レキ層直上黒色層	A	1.455	
30	2004	G-4	4	5	レキ層直上黒色層	A	1.465	
31	2004	G-4	4	5	レキ層直上黒色層	B	1.360	
32	2004	H-3	4	5	レキ層直上黒色層	B	1.175	
33	2004	D-4	4	不明	レキ層直上黒色層	B	1.121	3層下部～4層上部か？
34	2004	C-3	4	不明	レキ層直上黒色層	A	1.010	3層下部～5層上部か？
35	2004	D-2	4	不明	レキ層直上黒色層	C	0.877	
36	2004	I-3	4	5	レキ層直上黒色層	B	1.389	
37	2004	C-2	5	10	レキ層直上黒色層	A	1.122	土器と同一層と思われるセクション、西より
38	2004	C-2	仮5	10?	レキ層直上黒色層	A	1.127	黒色層内
39	2004	B-2	仮5	10?	レキ層直上黒色層	A	1.128	黒色層内
40	2004	B-2	(6)	不明	レキ層直上黒色層	B	1.097	黒色層よりはずれの礫層
41	2004	B-3	(6)	不明	炭ではない×炭化物？	-	1.268	礫層
42	2004	F-6	4	5	炭化物	C	1.696	確認トレンチ内
43	2004	I-2	不明	不明	炭ではない×炭化物？	C	1.422	(確認トレンチ内)
44	2004	F-5	4	5	炭化物	C	1.626	(確認トレンチ内)

Table 3-4-2 (続き) 採取炭化物一覧表

Table 3-4-2 (continued) Charred remains from the Novotroitskoe 10 site

ID	Year	Grid	Layer	Плacr	Carbon type	Importance	level	Memo
取り上げNo.	調査年	出土区	層位	人工層位	炭化物の種類	重要度	出土レベル 読み値 (m)	備考
45	2004	D-5	不明	不明	炭化物	A	1.331	大きい, 根近く
46	2004	H-3	4	6	小さい炭化物	C	1.357	赤色層, 小さい
47	2004	D-5	4	4	炭化物	B	1.288	
48	2004	G-4	炉2	不明	×念のため採取	-	1.553	
49	2004	C-2	仮5	10	炭化物	A	1.162	
50	2004	C-2	仮5	10	炭化物	B	1.113	
51	2004	C-2	仮5	10	炭化物	B	1.102	
52	2004	C-1	仮5	10	炭化物	B	1.099	
53	2004	B-1	仮5	10	炭化物	B	1.053	
54	2004	C-2	仮5	10	炭化物	B	1.148	
55	2004	C-1	仮5	10	炭化物	B	1.114	
56	2004	C-1	仮5	10	炭化物	B	1.041	黒色部分とレキ層
57	2004	B-3	仮5~6	10	炭化物	A	1.270	土器出土層と同じ
58	2004	B-3	(6)	不明	炭化物	A	1.282	土器出土層の下のレキ層(6)
59	2004	G-4	4	6	炭化物	A	1.512	赤色層
60	2004	H-4	4	6	炭化物	A	1.505	赤色層
61	2004	D-6	4	4	炭化物	C	1.440	
62	2004	E-5	4	4	炭化物	A	1.317	磨斧近く
63	2004	E-4	4	5	炭化物	A	1.175	覆土
64	2004	E-4	4	5	炭化物	B	1.230	覆土
65	2004	G-2	4	6	炭化物	B	1.172	赤色層
66	2004	E-4	4	5	炭化物	A	1.175	覆土
67	2004	G-4	炉2	炉2	炭化物	A	1.634	炉2
68	2004	G-4	炉2	炉2	炭化物	A	1.634	炉2
69	2004	D-5	4	5	大きい炭化物	A	1.398	
70	2004	D-5	4	5	大きい炭化物	A	1.427	
71	2004	E-4	4	5	大きい炭化物	B	1.352	覆土
72	2004	E-4	4	5	大きい炭化物	B	1.372	覆土
73	2004	E-4	4	5	大きい炭化物	A	1.248	セクションより
74	2004	C-5	4	5	大きい炭化物	B	1.345	
75	2004	E-5	4	5	大きい炭化物	A	1.356	土器近く
76	2004	H-2	4	6	大きい炭化物	B	1.215	赤色層より
77	2004	G-3	4	6	大きい炭化物	A	1.309	赤色層より
78	2004	H-3	4	6	大きい炭化物	A	1.328	赤色層より
79	2004	H-3	4	6	大きい炭化物	A	1.355	赤色層より
80	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	B	1.255	E4は全てくぼみ地形覆土4層のプラスト4~6?
81	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	A	1.263	E4は全てくぼみ地形覆土4層のプラスト4~6?
82	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	A	1.284	E4は全てくぼみ地形覆土4層のプラスト4~6?
83	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	B	1.340	E4は全てくぼみ地形覆土4層のプラスト4~6?
84	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	A	1.330	E4は全てくぼみ地形覆土4層のプラスト4~6?
85	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	A	1.338	E4は全てくぼみ地形覆土4層のプラスト4~6?
86	2004	I-5	4	6 or 7	大きい炭化物	C	1.808	
87	2004	H-4	4	6 or 7	大きい炭化物	A	1.508	
88	2004	H-4	4	6 or 7	大きい炭化物	A	1.601	
89	2004	C-4	4	5	大きい炭化物	B	1.239	
90	2004	H-3	4	7	大きい炭化物	A	1.402	
91	2004	H-4	4	7	大きい炭化物	B	1.648	
92	2004	H-4	4	7	大きい炭化物	B	1.682	
93	2004	H-3	4	7	大きい炭化物	A	1.404	
94	2004	H-4	4	7	大きい炭化物	A	1.651	
95	2004	I-3	4	7	大きい炭化物	B	1.476	
96	2004	D-5	4	5	大きい炭化物	A	1.415	
97	2004	C-3	4	7	大きい炭化物	A	1.208	

Table 3-4-3 (続き) 採取炭化物一覧表

Table 3-4-3 (continued) Charred remains from the Novotroitskoe 10 site

ID	Year	Grid	Layer	Плост	Carbon type	Importance	level	Memo
取り上げNo.	調査年	出土区	層位	人工層位	炭化物の種類	重要度	出土レベル 読み値 (m)	備考
98	2004	C-3	4	7	大きい炭化物	A	1.167	
99	2004	C-3	4	7	大きい炭化物	A	1.232	
100	2004	C-3	4	7	大きい炭化物	A	1.147	土器近く
101	2004	C-3	4(5)	7~8	大きい炭化物	B	1.245	
102	2004	C-3	4(5)	8	大きい炭化物	A	1.275	
103	2004	C-3	4(5)	8	大きい炭化物	A	1.275	
104	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	A	1.381	
105	2004	E-4	不明	不明	大きい炭化物	A	1.393	
106	2004	C-3	4(5)	8	大きい炭化物	A	1.254	
107	2004	C-4	4	6	大きい炭化物	B	1.222	
108	2004	C-2	5	8	大きい炭化物	-	1.165	
109	2004	C-2	5	8	大きい炭化物	-	1.176	
110	2004	C-2	5	8	大きい炭化物	-	1.158	
111	2004	C-2	5	8	大きい炭化物	-	1.145	
112	2004	C-2	5	8	大きい炭化物	-	1.152	
113	2004	C-2	5	8	大きい炭化物	-	1.120	
114	2004	C-2	5	8	大きい炭化物	-	1.103	
115	2004	D-2	4	6	大きい炭化物	-	1.032	
116	2004	E-2	4	6	大きい炭化物	-	0.961	
117	2004	E-2	4	6	大きい炭化物	-	0.964	
118	2004	E-2	4	6	大きい炭化物	-	0.973	
119	2004	E-2	4	6	大きい炭化物	-	1.008	
120	2004	E-2	4	6	大きい炭化物	-	1.001	
121	2004	C-1	5	9	大きい炭化物	-	1.209	
122	2004	D-2	4	7	大きい炭化物	-	1.091	
123	2004	D-2	4	7	大きい炭化物	-	1.110	
124	2004	E-2	4	7	大きい炭化物	-	0.992	
125	2004	E-2	4	7	大きい炭化物	-	1.018	
126	2004	C-2	4~5	8	大きい炭化物	-	1.152	
127	2004	D-2	5	8	大きい炭化物	-	1.134	
128	2004	E-1	4	6	大きい炭化物	-	0.937	土器底部のすぐ横から
129	2004	D-2	5	8	大きい炭化物	-	1.162	
130	2004	D-2	5	8	大きい炭化物	-	1.142	
131	2004	C-2	(4) 5	8	大きい炭化物	-	1.203	赤~黒色層, 主に黒色層, 尖頭器と同プラスト
132	2004	C-2	(4) 5	8	大きい炭化物	-	1.233	赤~黒色層, 主に黒色層, 尖頭器と同プラスト
133	2004	C-2	(4) 5	8	大きい炭化物	-	1.263	赤~黒色層, 主に黒色層, 尖頭器と同プラスト
134	2004	C-3	4~5	10	大きい炭化物	-	1.238	赤~黒色層, 主に黒色層, 尖頭器と同プラスト
135A	2004	D-2	5	8	大きい炭化物	-	1.112	
135B	2004	D-2	5	8	大きい炭化物	-	1.112	
135C	2004	D-2	5	8	大きい炭化物	-	1.112	
136	2004	D-2	5	8	黒いしみ状遺構の中	-	1.181	
137	2004	D-2	5	8	黒いしみ状遺構の中	-	1.226	
138	2004	C-2	5	9	黒いしみ状遺構の中	-	1.211	
139	2004	C-2	5	9	黒いしみ状遺構の中	-	1.215	
140	2004	C-2	5	9	黒いしみ状遺構の中	-	1.202	
141	2004	C-2	4~5	8	黒いしみ状遺構の中	-	1.185	黒色層の上の赤色層
142	2004	C-2	4~5	8	黒いしみ状遺構の中	-	1.182	
143	2004	C-2	5	9	黒いしみ状遺構の中	-	1.162	
144	2004	C-2	5	9	黒いしみ状遺構の中	-	1.168	
145	2004	C-2	5	9	黒いしみ状遺構の中	-	1.180	
146	2004	C-2	5	10	黒いしみ状遺構の中	-	1.222	
147	2004	C-2	5	10	黒いしみ状遺構の中	-	1.162	
148	2004	C-2	5	10	黒いしみ状遺構の中	-	1.158	

4. 成果と課題

4. 成果と課題

4-1 成果

本遺跡では、2001年に実施したゴンチャルカ1遺跡の日露共同調査（長沼ほか2003）での結果によって明らかとなった、オシポフカ文化期遺跡における課題に基づき調査がおこなわれた。ゴンチャルカ1遺跡では、豊富な石器資料や土器資料が得られた一方で、①後期新石器時代や初期鉄器時代など完新世以降に帰属する遺物も多数出土しており、②寒冷地性の土壌攪乱の影響も認められた。こうした条件から、③文化編年上の異なる時期に帰属する遺物や炭化物が混在している可能性があることが判明した。こうした問題を克服するため、新たな調査の目的として、ゴンチャルカ1遺跡とは別の遺跡を複数発掘することによって基礎データを蓄積し、改めてゴンチャルカ1遺跡の出土資料を再考することを設定した。こうした経緯の延長線上で、ゴンチャルカ1遺跡と同じノヴォトロイツコエ遺跡群内に存在し、オシポフカ文化期の包含層が試掘によって既に判明しているが、本格的な発掘調査には未着手であったノヴォトロイツコエ10遺跡が2003年からの新たな調査地として選定された。

ゴンチャルカ1遺跡の調査によって生じた課題のうち、①については、本遺跡ではオシポフカ文化期以外の人工遺物は出土せず、より条件の良い遺跡の調査をおこなうことができた。②については、本遺跡ではゴンチャルカ1遺跡で確認された氷楔（アイスウェッジ、長沼ほか2003）のような寒冷地性の土壌攪乱の痕跡は確認されなかった。こうした点から、③の可能性についても、少なくともゴンチャルカ1遺跡に比べ、本遺跡はオシポフカ文化期以外の時期の石器や土器を含む可能性の低い遺跡であり、新たに設定した目的の一部を達成し得る内容の遺跡であったと評価することができる。

以下では2003年、2004年の調査成果の概要を、1) 石器、2) 土器、3) 年代測定結果、に分けて記述する。

1) 本遺跡出土の石器は、両面加工の石器と細石刃関連の石器が中心となる。両面加工の石器には多様な形態とサイズの尖頭器や搔器などが含まれ、さらに両面加工石器の製作によって生じた剥片は他の剥片石器への素材供給の役割も担っている。また、有茎尖頭器と石鏃も1点ずつ出土している。細石刃関連の石器には湧別技法類似の技術によるものと、近傍の河川で採集可能な中～小形の円礫・亜円礫を素材としてより簡略な調整によって作出された細石刃核によるものが含まれる。これらに、わずかではあるが磨石や石錘、穿孔のある礫などが加わる。最も多く使われている石器石材は、暗灰色で緻密な堆積岩（頁岩や泥岩、そしてこれらが熱変成によってホルンフェルス化したもの含む）である。こうした石器の器種組成や石器製作、使用石材の傾向は本遺跡周辺のオシポフカ文化期遺跡に広く共通する。また、橋詰ほか編（2016）で報告したオシノヴァヤレーチカ10遺跡は、緑灰色で緻密な堆積岩（頁岩）を多用する点で本遺跡と主要石材が異なるが、両面加工の石器やそれに関連する剥片石器、細石刃関連の石器の特徴などの共通点を有する。さらに、上記したような周辺のオシポフカ文化期遺跡と広く共通する要素以外にも、石鏃や有茎尖頭器、磨石や石錘などといった特徴的な器種を共通して出土しており、両遺跡の間にはより強い類似性を認めることができる。

2) 土器については、本遺跡では計80箇所の出土地点の3次元位置情報を記録して、土器片を取り上げている。この中には、村上（2017）で6つの類型に分類された土器資料が含まれている。橋詰ほか編（2016）で報告されたオシノヴァヤレーチカ10遺跡出土土器は、本遺跡出土土器の1類に相当するもののみが存在しているのに対し、本遺跡出土土器は相対的により豊富なヴァリエーションを有しているといえる。この中には、Kunikita et al.（2013）および國木田ほか（2017）で年代測定が実施された、内面に炭化物の付